

平成22年3月期 第2四半期 2009年 11月 27日

決算説明会

株式会社 エスイー  :3423



株式会社 エスイー

将来の計画に関する記載は、現在において入手可能な情報および仮定に基づき作成しており、実際の業績はさまざまな要因により計画と異なる場合があります。

目次

- I. 平成22年3月期第2四半期 財務諸表
- II. 平成22年3月期通期 予測損益（連結）
- III. 平成22年3月期第2四半期 事業報告
- IV. SECグループの中期経営戦略

I . 平成22年3月期第2四半期 財務諸表

1. 損益計算書(連結)
2. 分野別売上高・粗利益(連結)
3. 貸借対照表(連結)
4. キャッシュ・フロー計算書(連結)

1.損益計算書(連結)

(単位:百万円)

	平成21.3期 第2四半期累計 実績	平成22.3期 第2四半期累計 実績	前年同期比
売上高	4,886	5,914	1,027 (21.0%)
営業利益	△102	65	167 (-)
経常利益	△70	68	138 (-)
四半期純利益	△7	20	27 (-)
一株当たり 四半期純利益	△0円98銭	2円67銭	3円65銭

<増収・増益の要因 :平成22.3期 第2四半期累計実績>

- 売上高 : 「環境・防災事業」において売上が伸張
 - ・ 『アンカー』は、北海道地区での引張型アンカーの拡販
 - ・ 民間需要の大型物件の受注により非法面アンカーの売上が好調
 - ・ 『落橋防止装置』は、国土交通省の重点施策である橋梁の耐震補強事業が堅調に推移
- 営業利益 :
 - ・ 利益率の高い工場製品の拡販により売上総利益が伸張
 - ・ 販管費は、連結子会社での事業規模拡大に伴う増員等で人件費が増加
 - ・ アンジェロセックの事業拡大による効果で橋梁構造事業の利益率が改善

2.分野別売上高・粗利益(連結)

区 分		平成21年3月期 第2四半期四半期 実績		平成22年3月期 第2四半期四半期 実績		前年同期比
		百万円	構成比	百万円	構成比	
環境・防災 事 業	売 上	3,417	69.9%	3,964	67.0%	16.0%
	粗利益	1,016		1,255		23.5%
	利益率	(29.7%)		(31.7%)		(2.0P)
橋梁構造 事 業	売 上	1,342	27.5%	1,171	19.8%	△12.8%
	粗利益	206		203		△1.5%
	利益率	(15.4%)		(17.3%)		(1.9P)
その他	売 上	126	2.6%	778	13.2%	517.5%
	粗利益	37		270		629.7%
	利益率	(29.4%)		(34.7%)		(5.3P)
合 計	売 上	4,886	100.0%	5,914	100.0%	21.0%
	粗利益	1,259		1,728		37.2%
	利益率	(25.8%)		(29.2%)		(3.4P)

3. 貸借対照表(連結)

(単位:百万円)

	平成21.3期 前 期 末	平成22.3期 第2四半期末	前期末比較
流 動 資 産	8,895	9,256	361 (4.1%)
固 定 資 産	4,429	5,189	760 (17.2%)
資 産 合 計	13,324	14,445	1,121 (8.4%)
流 動 負 債	5,449	5,403	△45 (△0.8%)
固 定 負 債	2,087	3,357	1,270 (60.9%)
負 債 合 計	7,536	8,761	1,224 (16.3%)
純 資 産 合 計	5,788	5,684	△103 (△1.8%)
負 債・純 資 産 合 計	13,324	14,445	1,121 (8.4%)

●自己資本比率： 平成21年3月期 前 期 末 43.4%
平成22年3月期 第2四半期末 39.3%

●一株当たり純資産： 平成21年3月期 前 期 末 753円35銭
平成22年3月期 第2四半期末 740円20銭

4. キャッシュ・フロー計算書(連結)

(単位:百万円)

	平成21.3期 第2四半期累計	平成22.3期 第2四半期累計	前年同期比
営業活動によるキャッシュ・フロー	533	△21	△554 (-)
投資活動によるキャッシュ・フロー	△214	△755	△540 (-)
財務活動によるキャッシュ・フロー	290	1,250	959 (330.5)
現金及び現金同等物 増減額	608	469	△139 (△22.9)
現金及び現金同等物 期首残高	754	1,482	727 (96.5)
現金及び現金同等物 四半期末残高	1,363	1,951	588 (43.2)

<主な増減要因 :平成22年3月期 第2四半期累計>

- 営業活動によるC/F : 売上債権の減少 693百万円・仕入債務の減少 △814百万円 など
- 投資活動によるC/F : 定期預金の預入れ △30百万円・有形固定資産の取得 △164百万円・
エスイー朝日株式取得による支出 △567百万円 など
- 財務活動によるC/F : 短期借入金423百万円・長期借入金 1,300百万円・長期借入金の返済 △704百万円・
社債発行 450百万円・配当金支払 △153百万円 など

Ⅱ. 平成22年3月期通期 予測損益(連結)

通期予測損益(連結)

(単位:百万円)

	平成21.3期 通期 実績	平成22.3期 通期 予測	前年対比	
売上高	11,412	13,800	2,387	(20.9%)
営業利益	375	651	275	(73.3%)
経常利益	463	700	236	(51.0%)
当期純利益	243	406	162	(66.4%)

◆ 平成22年3月期 期末配当金 1株当たり 20円(予定)

■ 一株当たり当期純利益・配当金及び配当性向の推移(連結)

	平成18.3期	平成19.3期	平成20.3期	平成21.3期	平成22.3期 (予測)
一株当たり 当期純利益(円)	27.55	35.02	50.17	31.77	52.87
一株当たり 配当金(円)	15.00	※ 20.00	20.00	20.00	20.00
配当性向(%)	54.4	57.1	39.9	63.0	37.8

※ 平成19年3月期の配当金は記念配当5円を含む。

Ⅲ. 平成22年3月期 第2四半期 事業報告

1. 環境・防災事業
2. 橋梁構造事業
3. 平成22年第2四半期事業報告実績例集

1. 環境・防災事業

● アンカー、KITの売上予測と3期比較

施工場所: 三重県青山町



緑化前



緑化1ヶ月後



緑化3ヶ月後



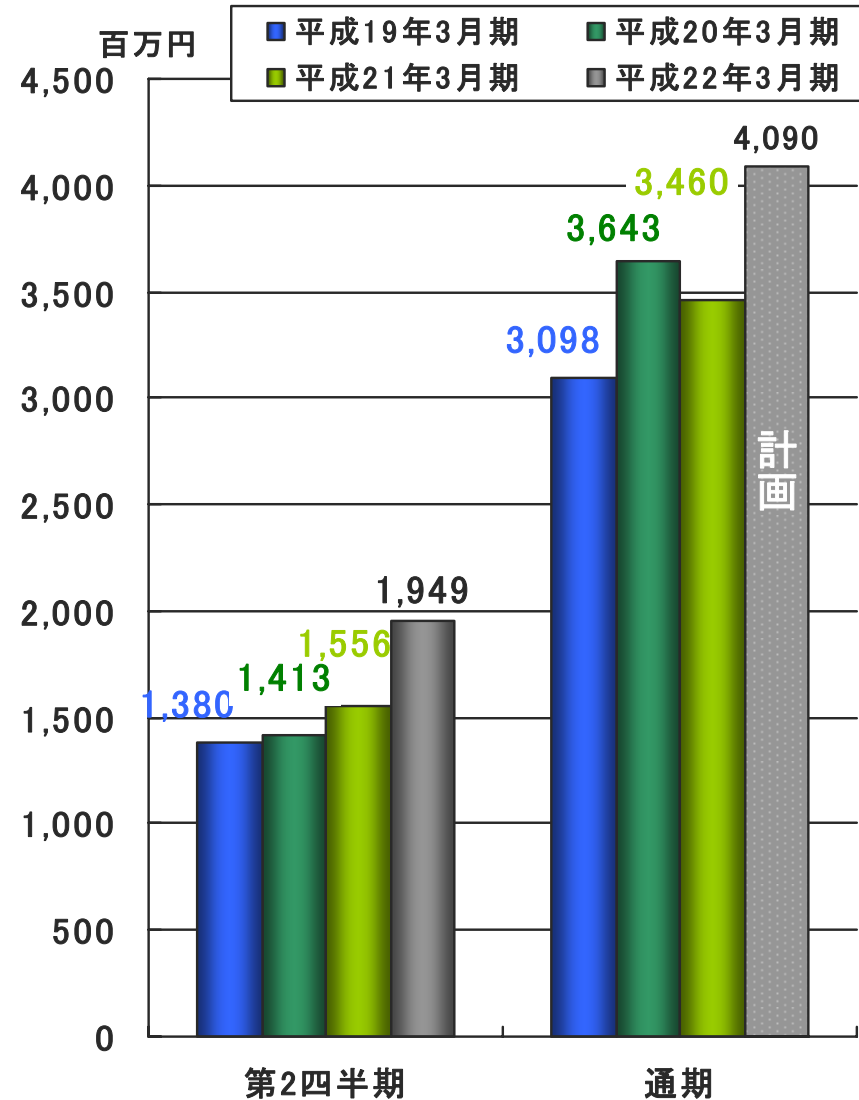
緑化7ヶ月後



緑化1年後

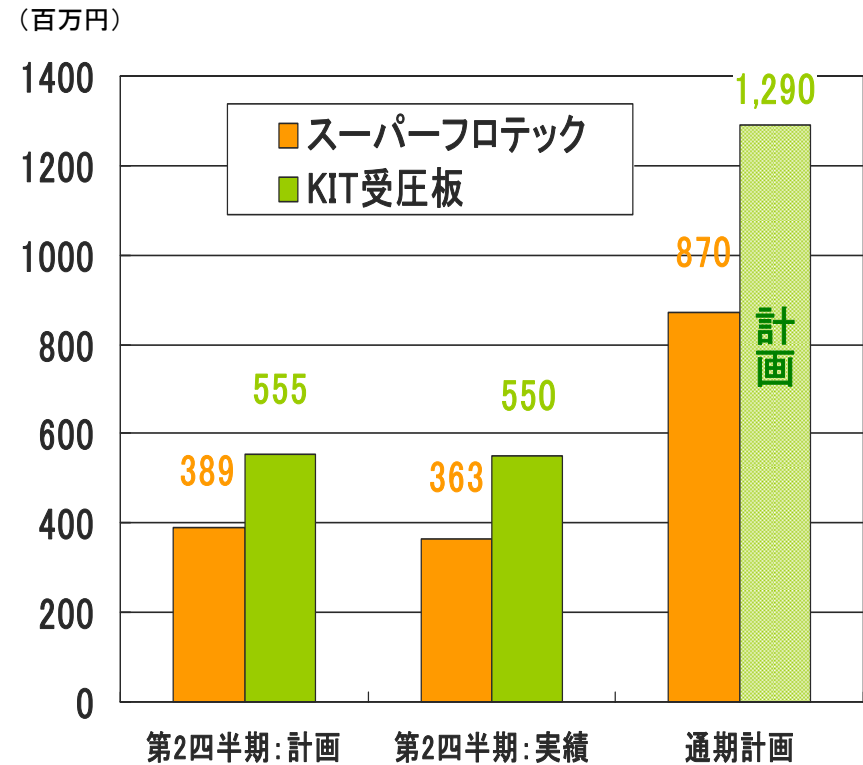


緑化1年7ヶ月後



1. 環境・防災事業

スーパーフロテックアンカーの販売がKIT受圧板の売上を牽引！



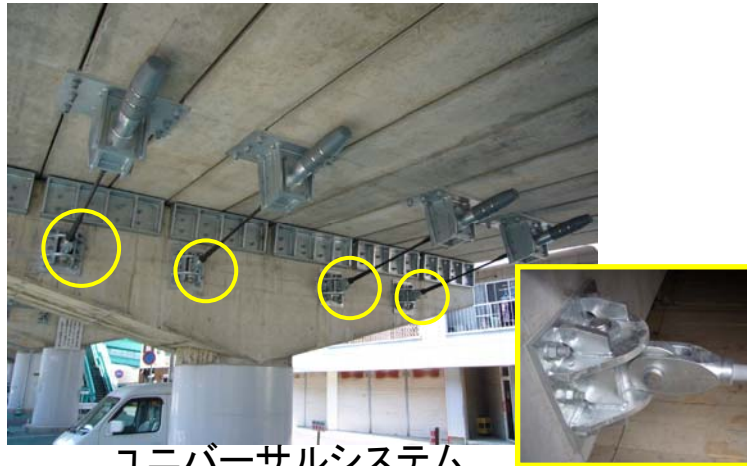
	第2四半期: 計画	第2四半期: 実績	通期予測	(百万円)
スーパーフロテック	389	363	870	
KIT受圧板	555	550	1,290	

1. 環境・防災事業

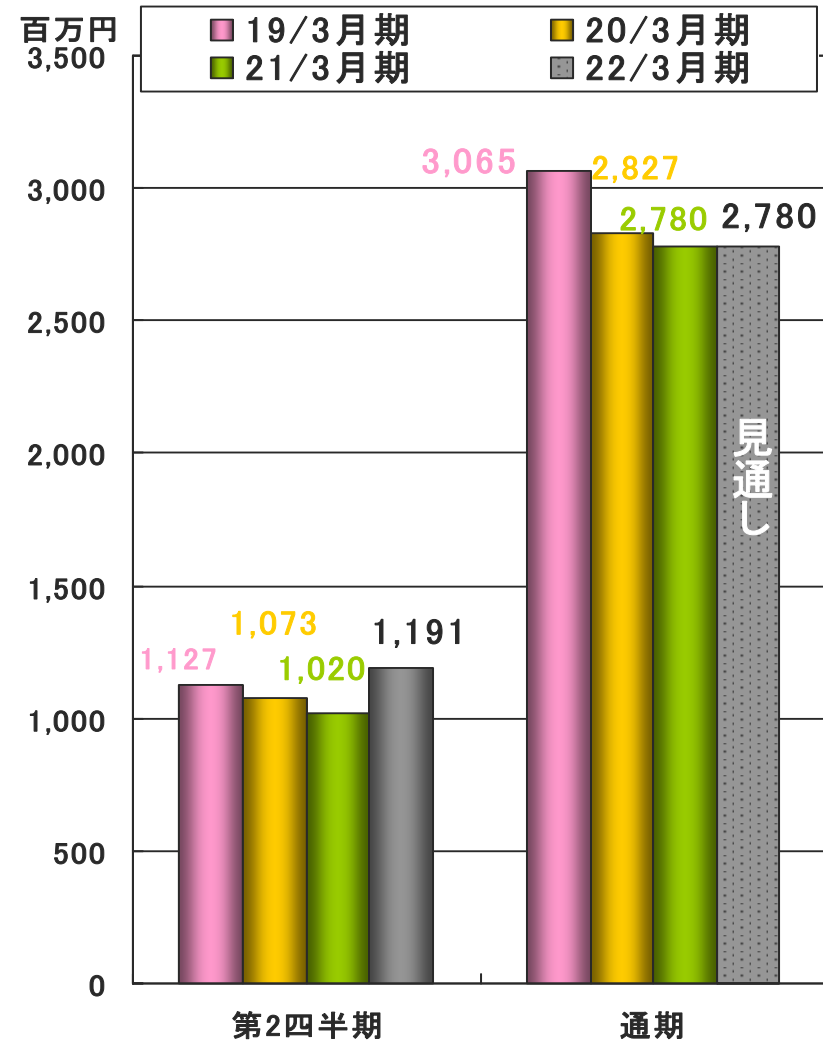
落橋防止装置の売上予測と前期比較



タイブリッジシステム



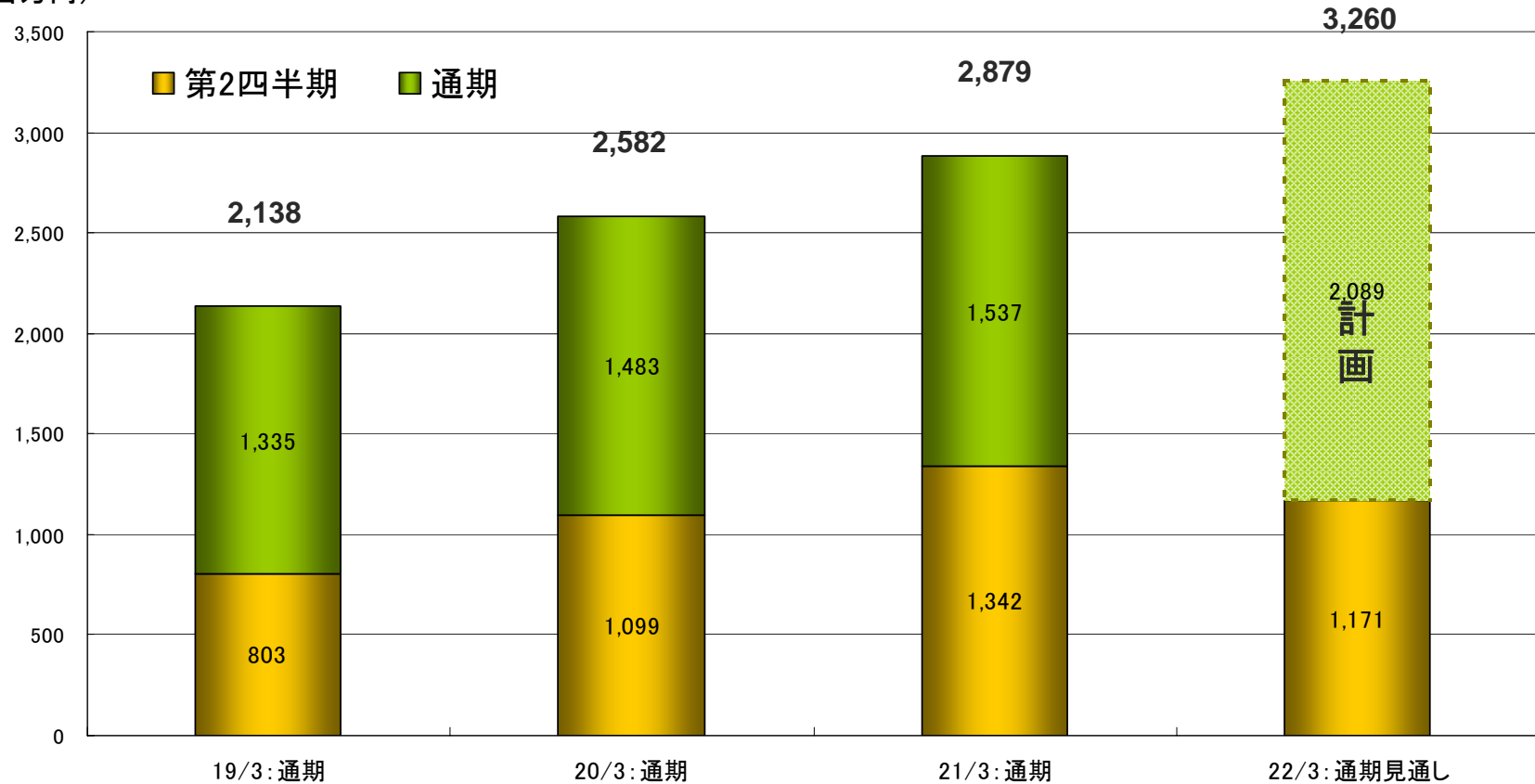
ユニバーサルシステム



2. 橋梁構造事業

● 橋梁構造事業の売上推移

(百万円)



(百万円)

	19/3期: 第2四半期	19/3期: 通期	20/3期: 第2四半期	20/3期: 通期	21/3期: 第2四半期	21/3期: 通期	22/3期: 第2四半期
売上高	803	2,138	1,099	2,582	1,342	2,879	1,171

当期第2四半期実績例

1. 環境防災の実績例
2. 橋梁構造事業の実績例
3. 海外市場への進出実績例
4. アンジェロセックの活動報告(海外)
5. バイオマス事業の活動報告
6. M & Aの実績例

1. 環境・防災事業

● 小田原漁港の事例

小田原港全景



施工中の様子上部から直角と斜め方向の両方にアンカーを入れて護岸している。

当社アンカー

1. 環境・防災事業

● 鮎立漁港の事例



岸壁部分の耐震補強用としてアンカーを斜めに打ち込んでいる様子。

下の写真は、角度を変斜めに打ち込んでいる様子



当社アンカー

1. 環境・防災事業

● 粟島漁港の事例



当社アンカー：護岸工事風景



港の施設を供与したまま耐震化する事が可能な護岸工法

2. 橋梁構造事業

大型斜張橋プロジェクト

● 夢翔大橋(奈良県)



工事名称	一般国道168号地域連携推進事業 (国道改築)工事(仮称)1-1号橋
施工場所	奈良県五條市大塔町辻堂
発注者	奈良県
工期	2007年3月16日～2010年3月26日
橋長	290m
支間	42.250m+127.000m+119.700m
構造形式	PC3径間連続エクストラードーズド橋

2. 橋梁構造事業 大型斜張橋プロジェクト

● 生名橋(愛媛県)

斜材ケーブルの特徴

19H~37H タイプ	・ケーブル長:20m~150m
・2面吊 15段(総数 120本)	・Uストライプ保護管(一部)



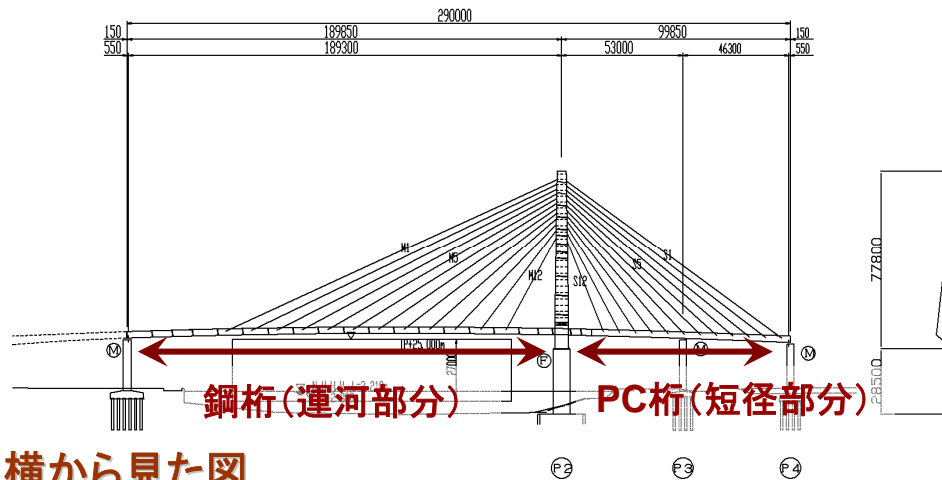
3径間連続鋼・コンクリート複合斜張橋(515m = 100m+315m+100m)

2. 橋梁構造事業

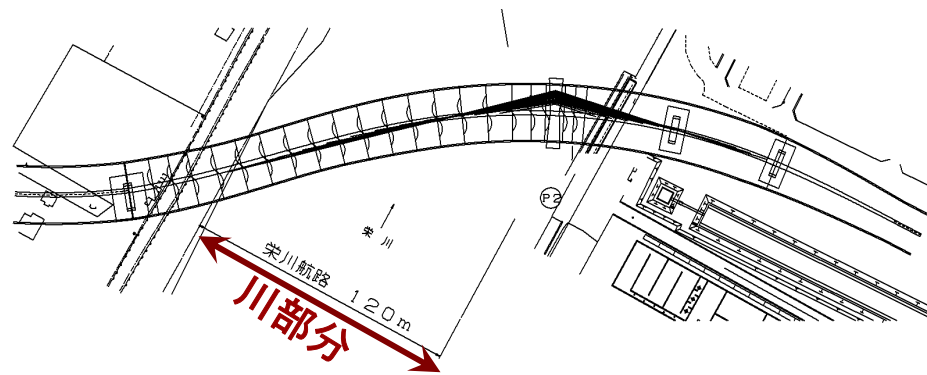
大型斜張橋プロジェクト

- 栄川大橋（山口県宇部市の栄川の河口に架かる複合斜張橋）

S字の平面線形の斜張橋。主塔は鋼構造で12月より斜材の架設が開始予定。



■横から見た図



■上から見た図

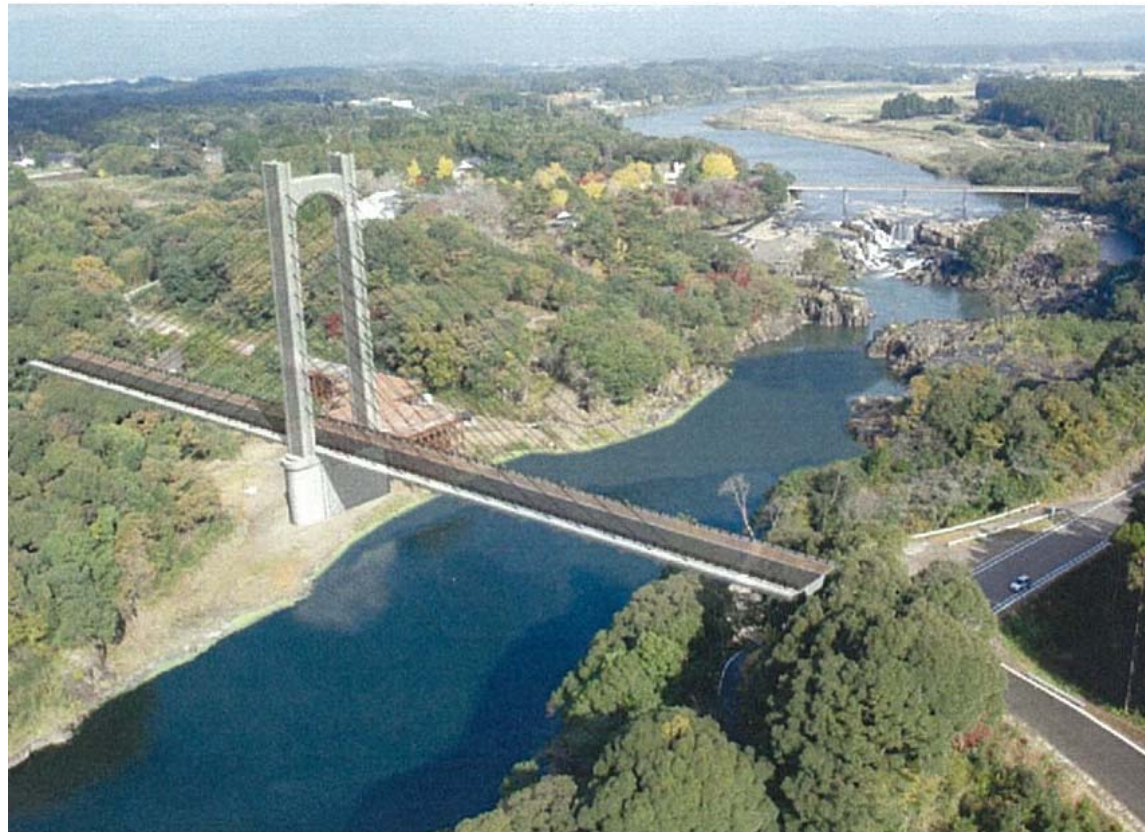
3径間連続複合曲線斜張橋（290m = 190m+53m+47m）



2. 橋梁構造事業 大型斜張橋プロジェクト

● 新曾木大橋

- 来年2月の斜材架設に向けて準備中の鹿児島県 伊佐市の新曾木大橋(写真は完成予想図:パース)



2径間連続PC斜張橋 (204m = 97m+107m)

2. 橋梁構造事業 大型斜張橋プロジェクト

● 余部橋架替え工事(兵庫県)

着工	明治42年(1909年)12月	長さ	310.59メートル
開通	明治45年(1912年)3月1日	高さ	41.45メートル

建設当時余部集落付近については、集落を跨ぐ形で線路を繋がねばならなかった。その為トレスル橋が採用された、現在でも日本最大であり、初期の鉄道建築の一つとして歴史的価値が高い。潮風が吹きつける橋脚には防錆処理をするため、数年おきに橋脚部にネットを張り塗り替えが行われて来た。

着工から100年・東洋一と言われた名橋梁



現在の工事の様子



完成予定イメージ

老朽化が激しく、架け替えの決定。現在施工中。

新橋完成後は、強風による列車の運転抑止回数や運休本数、列車の遅れなども90%以上改善される

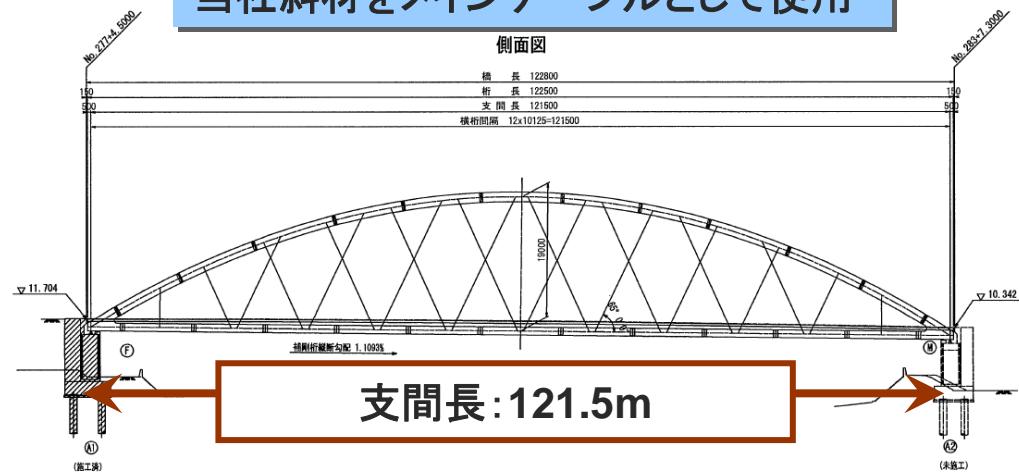
2. 橋梁構造事業

大型斜張橋プロジェクト

- 新新莊川橋上部工事---高知県須崎市



当社斜材をメインケーブルとして使用



橋梁形式	ダブルワーレントラス式ニールセンローゼ橋
総鋼重	約700t
橋長	122.8m
支間長	121.5m
架設工法	ケーブルクレーン

2. 橋梁構造事業 大型斜張橋プロジェクト

● 農林3号橋(大分県)



橋長	190.0m
支間長	188.0m
幅員	有効幅員:6.0m 全幅員 :7.2m
形式	鋼ニールセンローゼ橋
舗装	アスファルト舗装7.0m
床版	鉄筋コンクリート床版20.0cm
鋼重	976 ton

- ◆基幹農林道3号橋は、基幹となる農林道が「杖立川」を渡河する地点に架設される橋梁。
- ◆周囲の自然景観との調和を考慮し、構造美にも優れたニールセンローゼ橋形式を採用。

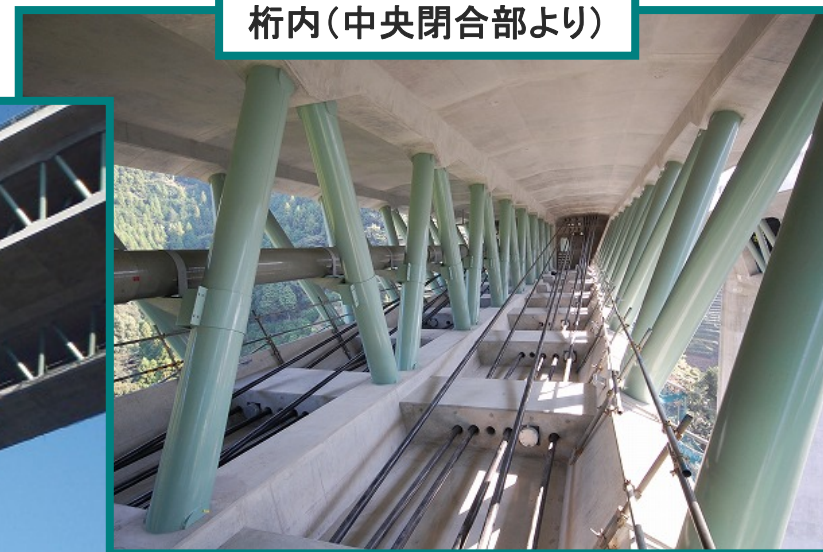
※農林業務用道路等を一体的に整備することにより、以下の点を目的とする。

- ①土地利用の向上、労力の軽減、農林業所得の増大を図る。
- ②適切な管理が行われていない森林、及び耕作放棄地の増加防止
- ③森林、農用地が有する国土の保全と水源かん養の公益的機能の維持増進

2. 橋梁構造事業

大型斜張橋プロジェクト

- 猿田川橋(静岡県:新東名高速道路)



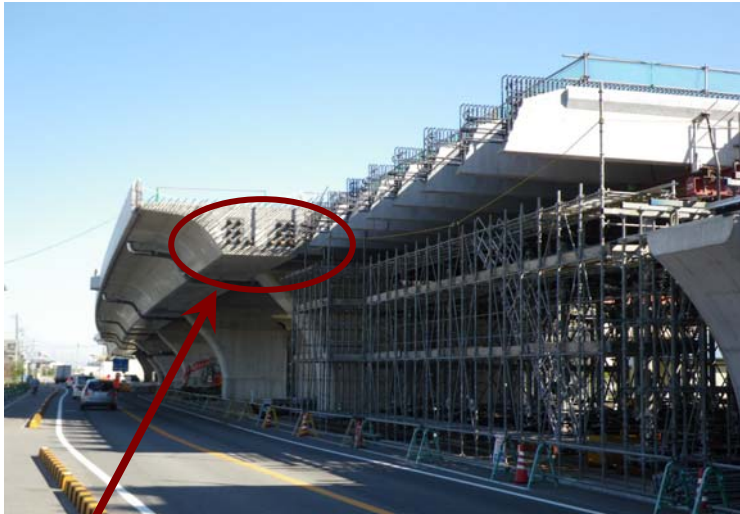
桁内(中央閉合部より)



遠景から臨む猿田川橋

件名	第二東名高速道路 猿田川橋(PC上部工)上り線工事
工期	2006/4/7~2009/12/31
橋梁形式	猿田川橋(上り線) PC7径間連続複合トラス橋 L=600m 巴川橋(上り線) PC5径間連続複合トラス橋 L=489m
納入材料	FUT12T15(内ケーブル)、FUT19T15(外ケーブル) 落橋防止装置

2. 橋梁構造事業



F型ケーブル: プレストレストコンクリート用のPCケーブル



徳島東環状道路

国土交通省四国地方整備局 徳島河川国道事務所HPより

- 徳島市内では、幹線道路の一般国道11号、55号、192号が中心部で交差していることから、交通が集中
- 交通渋滞の解消を図るための中心的役割を果たすのが「徳島外環状道路」。

3. 海外市場への進出

● 華明大橋

韓国釜山: 華明大橋

当社と韓国兌和(TAI WHA)及び、フランス・アンジェロップ社との合併会社であるTISとの協業プロジェクトとして推進



※ 2009/11現在の華明大橋

2009年度4月より施工開始
韓国現代⇔TIS 総額:5,450百万ウォン 2008年3月正式締結

3. 海外市場への進出

- KOREA SE

当社の関係会社である、株式会社コリアエスイー(当社持株比率約26%)
2008年7月15日(火)に韓国KOSDAQ市場に上場。

K-SECの写真



株式会社コリアエスイーにおいては今後韓国市場におけるハードウェア部分を中心に当社と連携しつつ事業の拡大を進めて参ります。

(2009年9月30日 現在)

合併会社の名前	KSEC(KOREA SE)
市場	KOSDAQ
従業員数	50名
資本金	3,780,000,000(Won)
当社持株比率	26.67%(自己株式360,000株を除く)

3. 海外市場への進出

● V-JEC

ベトナムの建設土木の分野で権威あるHanoi University of Civil Engineering と07年11月、合併会社Vietnam Japan Engineering Consultants (VJEC)を設立し、ベトナム及びアセアン諸国のプロジェクトを獲得

目的	社会インフラ、交通インフラの早期整備が必要なベトナムの国土開発に貢献
業務内容	設計コンサルティング、ソフトエンジニアリング (鉄道・道路・橋梁・都市開発・工業団地・大学建設など)
基本戦略	1. 政府レベルと川上で交渉し、ODAプロジェクトを獲得 2. 政府機関にエンジニアを数多く輩出しているHUCEと提携し、プロジェクトの早期仕込みに努める
本年予定プロジェクト	ハノイ市---ハイフォン市高速道路施工監理(技術点1位) 400万US\$ 約4億円(向こう3.5年間)
(ベトナム・ローカル・プロジェクト)	



4. アンジェロセックの活動報告：海外

● タジキスタン共和国

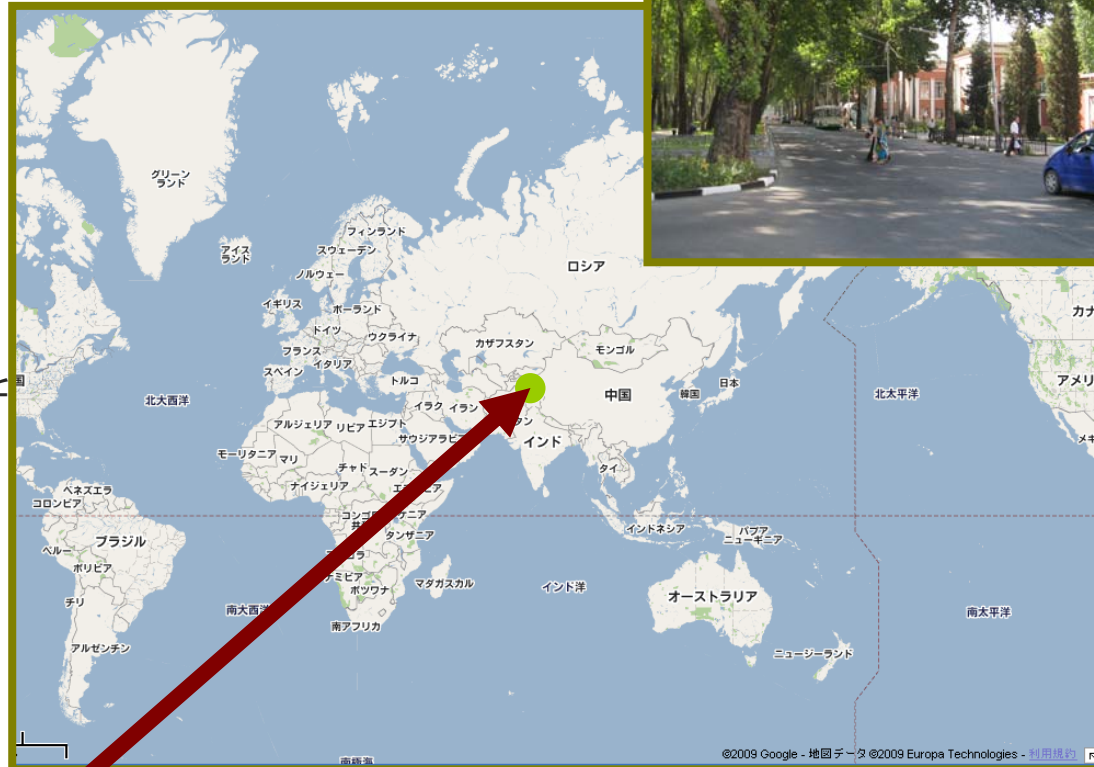
太陽光等を活用したクリーンエネルギー導入計画準備調査



①現地関係機関(太陽光発電システムの設置先となるディアコフ病院)との打ち合わせの様子



②現地関係機関(タジキスタン国電力公社バルキタジク・ドゥシャンベ火力発電所)からのヒアリングの様子



タジキスタン：JICAの案件として、受注現在調査中

地図出展：Google

4. アンジェロセックの活動報告：海外

● カーボヴェルデ共和国

上水道システム整備事業準備調査



老朽化し不衛生な既存の井戸施設



村人が利用する地方村落の共同水栓



プライア市(首都)近郊の
最新の海水淡水化設備
逆浸透(RO)膜式



事業概要:

カーボヴェルデ国のサンティアゴ島の水不足および経済発展に伴う水需要の増大に対し、海水淡水化により上水の生産量を増やすと共に、地域の給水ネットワークを整備するプロジェクト。

4. アンジェロセックの活動報告：海外

● ブータン王国

第三次橋梁架替計画DD/SV



ニヤラチュー橋現在の様子



完成イメージ



ラワカー橋現在の様子



完成イメージ

- ブータンはインドとの国境にある国で成長中のインドへの輸出入が非常に多い。
- この橋が架かる道はインドとブータンを結ぶ2つの主要道路の中の1つ。
- 20年が経過した架設用の橋を利用しており、腐食も見られ今後落橋の恐れがある。

4. アンジェロセックの活動報告：海外

● コンゴ民主共和国

キンサシャ道路回収計画準備調査



対象道路ポア・ルー通りの合同視察の様子



ポア・ルー通りは交通量もある往来の為の
主要道路



水没するポア・ルー通り：

熱帯モンスーン気候に属しており、明確な雨季と乾季がある。乾季は短く6月から9月までの4ヶ月間で、ほとんど雨が降らない。一方雨季には写真の通り、道路が水没するといった状況が生まれる。

5. バイオマス事業の活動報告



減圧乾燥機



蒸気ジェット式乾燥機

太陽光パネル付浄水化装置事業
化開発中

家畜飼料事業化開発中

コアマシン

6. M&Aによる新規市場開拓

● エスイー朝日



株式譲渡日	平成21年4月10日
取得株数	100株
取得金額	取得価額620百万円
場所	埼玉県南埼玉郡白岡町岡泉

平成21年8月1日:朝日興業株式会社からエスイー朝日株式会社に社名を変更

6. M&Aによる新規市場開拓

● 株式会社キョウエイ

□ 現況：『建築用資材の製造・販売事業』

□ 今後⇒現在建築用に使用されている商品を土木分野にも拡大。

社名	株式会社キョウエイ
住所	福島県須賀川市
事業内容	ネジ製造販売、鋼材販売業、建築資材販売等
資本金	90,000,000円
設立年月日	昭和49年12月14日

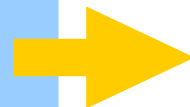


- 取得株式数：1,800株
- 取得金額：158百万円
- 所有割合：100%
- 株式譲渡日：22年1月12日(予定)

北関東圏の市場化イメージ図

エスイー朝日(株)
(関東圏)

(株)キョウエイ
(関東・東北圏)



エスイー朝日(株)(関東圏)

⇒ 経営・管理・物流・仕入れ・生産拠点の合理化。

⇒ 土木分野の市場との相乗効果。

(株)キョウエイ(関東・東北圏)

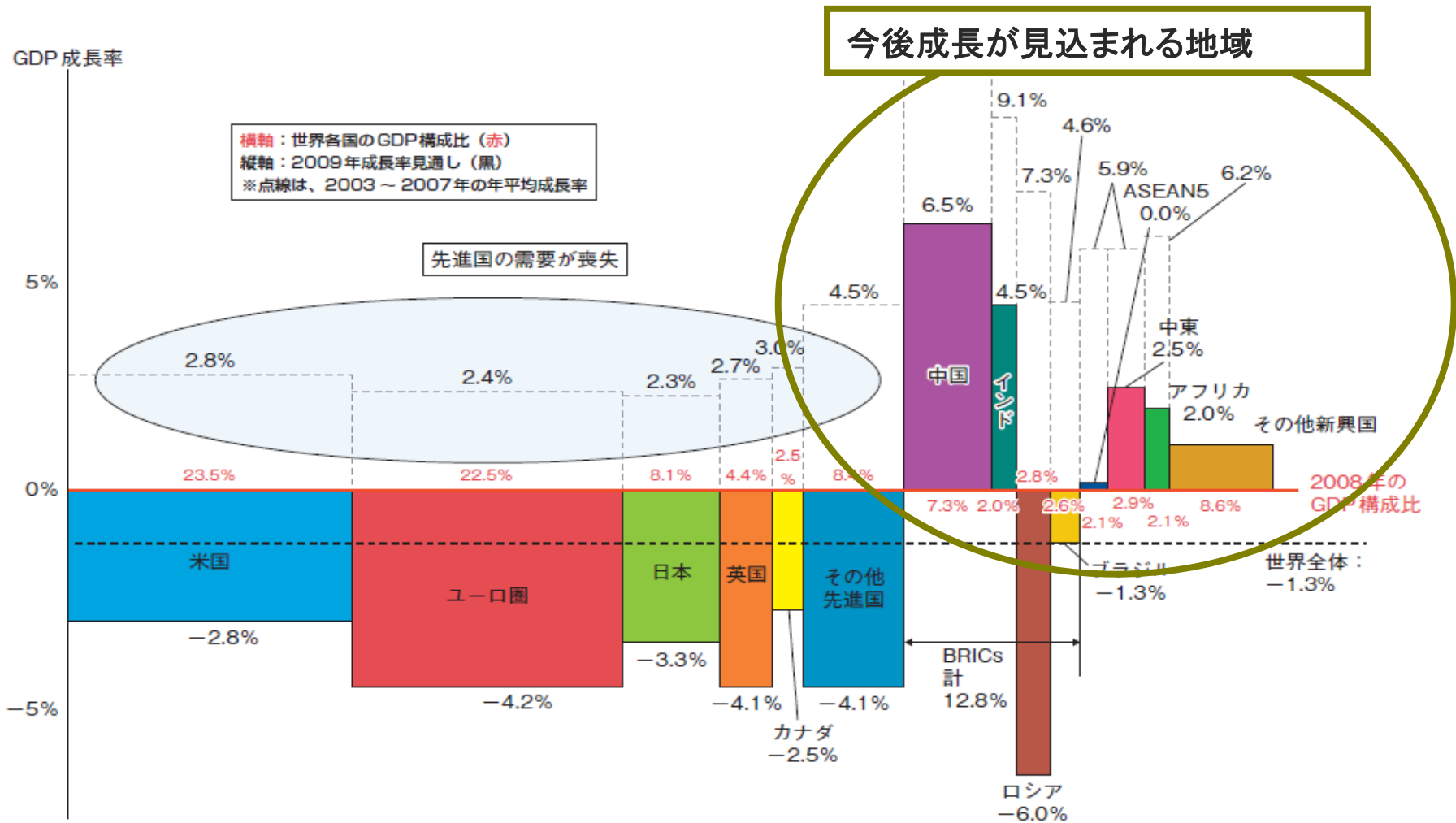


IV. SECグループの今後の戦略

- 1. 市場環境(世界)**
- 2. 市場環境(国内)**
- 3. エスイーグループ今後の戦略**
- 4. エスイーグループの中期戦略**
- 5. 近未来構想**

市場環境---(世界)国・地域別成長の見通し

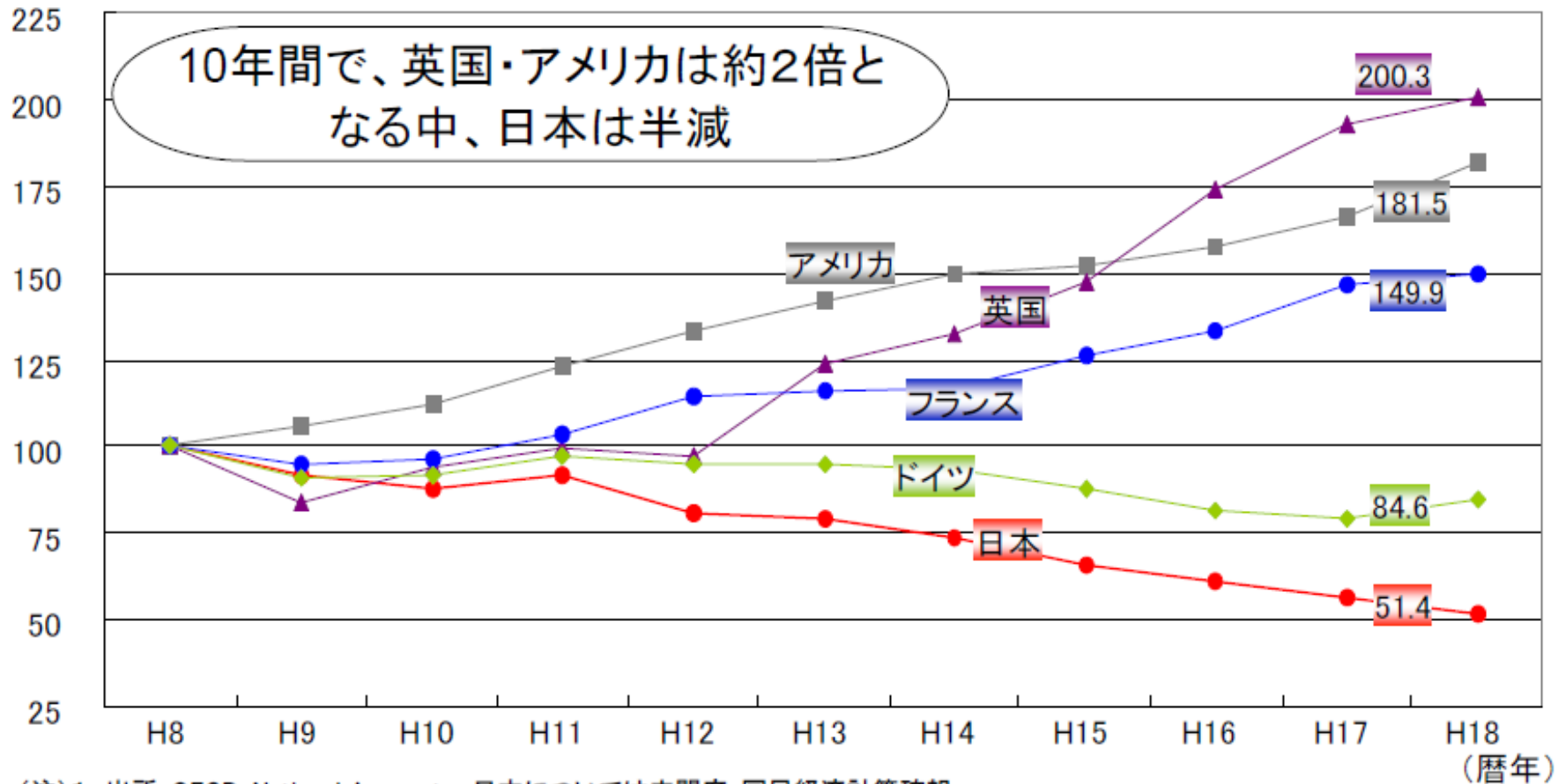
<国・地域別GDP比と経済成長率見通し> : 経済産業省通商白書より



資料 : IMF 「World Economic Outlook April 2009」、内閣府 「平成21年度経済見直し暫定試算」 から作成。

市場環境---(世界)公共投資水準の国際比較

一般政府Igの推移(平成8年を100とした指数)

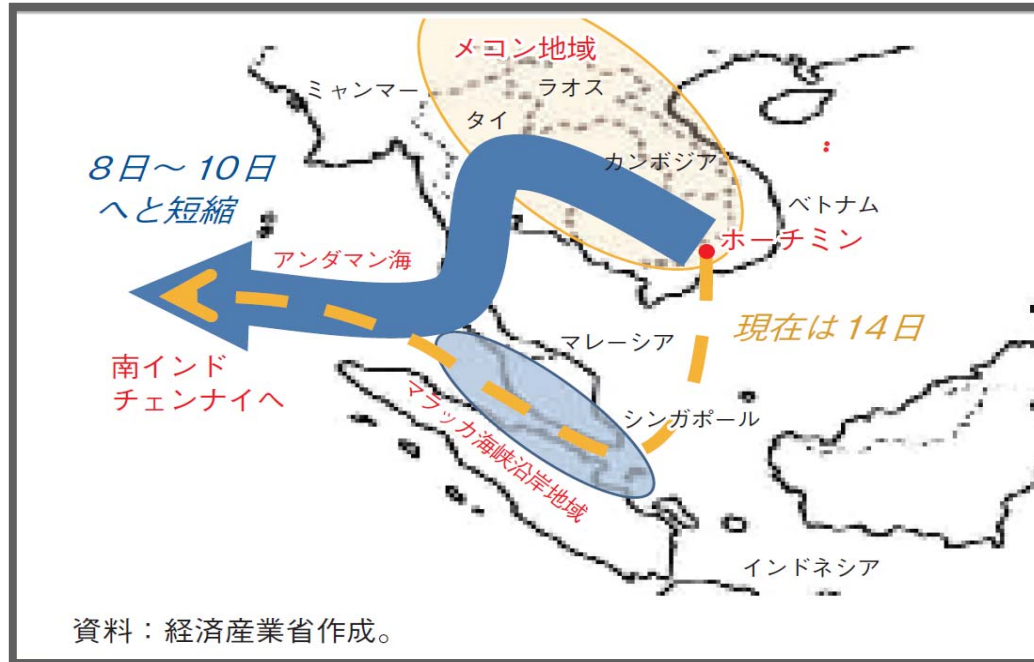


(注) 1. 出所: OECD・National Accounts、日本については内閣府・国民経済計算確報。
 ただし、日本のH19・20は財政制度等審議会資料より(年度ベースの推計値)
 2. 英国のH17については、英国原子燃料会社(BNFL)の資産・債務の中央政府への承継(約145億ポンド)の影響を除いている。

出典:「真に必要な社会資本整備と公共投資改革の推進」(冬柴臨時議員提出資料) 平成20年6月17日

市場環境---(世界)国・地域別成長の見通し

<アジアの成長力強化（経済産業省：通商白書2009年9月）>



具体例)

ベトナムのホーチミン-インドのチェンナイ間は現在2週間かかっているがホーチミンからアンダマン海まで陸路を整備し、タイから海路でチェンナイへ運び、国境通過時間を短縮すると8日で運搬が可能。このようなルートの建設、沿道周辺に工業団地などの関連インフラを整備。

- ①メコン地域は、遙かインドや中東を視野に入れた、製品供給拠点として大きく発展。
- ②物流ルートを整備することによりマラッカ海峡の混雑が緩和。
- ③日中韓と中東をつなぐエネルギー輸送の大動脈の安定化。

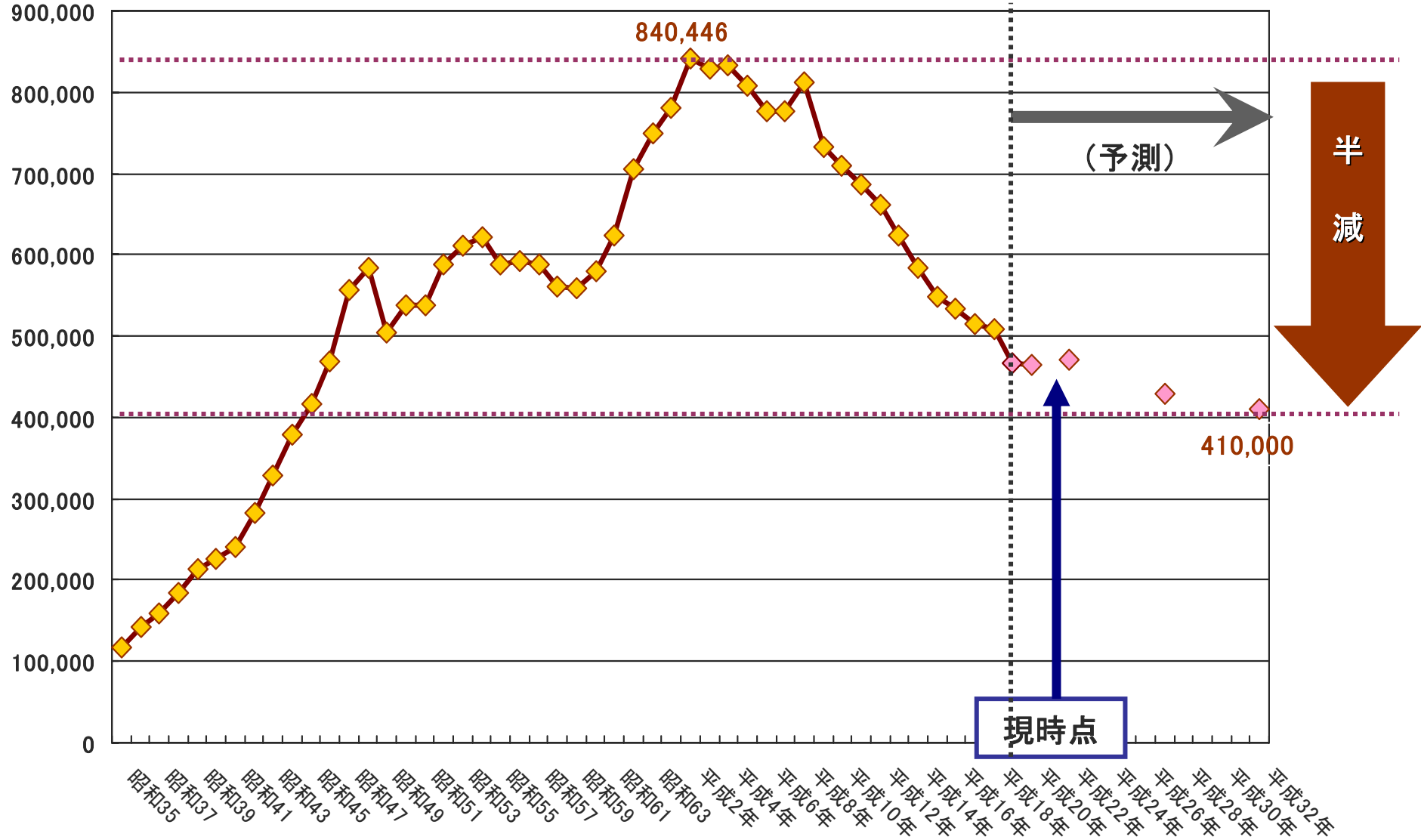
これによりインドネシア、マレーシア、フィリピンに至るまで、東南アジア全域の発展にも寄与する。

市場環境---(国内)建設市場の見通し

● 建設投資費の推移

※平成18~20年度は見込み数値

(単位:億円)

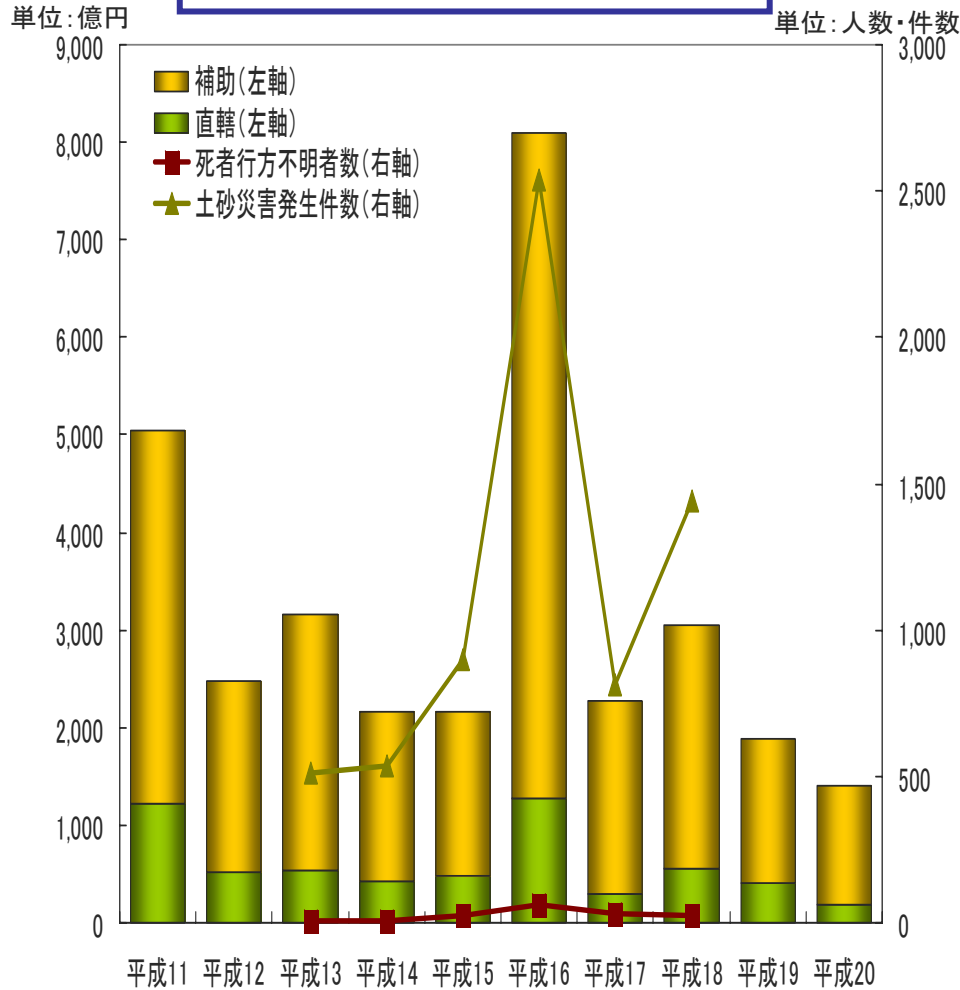


平成20年度 国土交通省発表資料より 平成22年以降は国土交通省及び、(財)建設経済研究所調

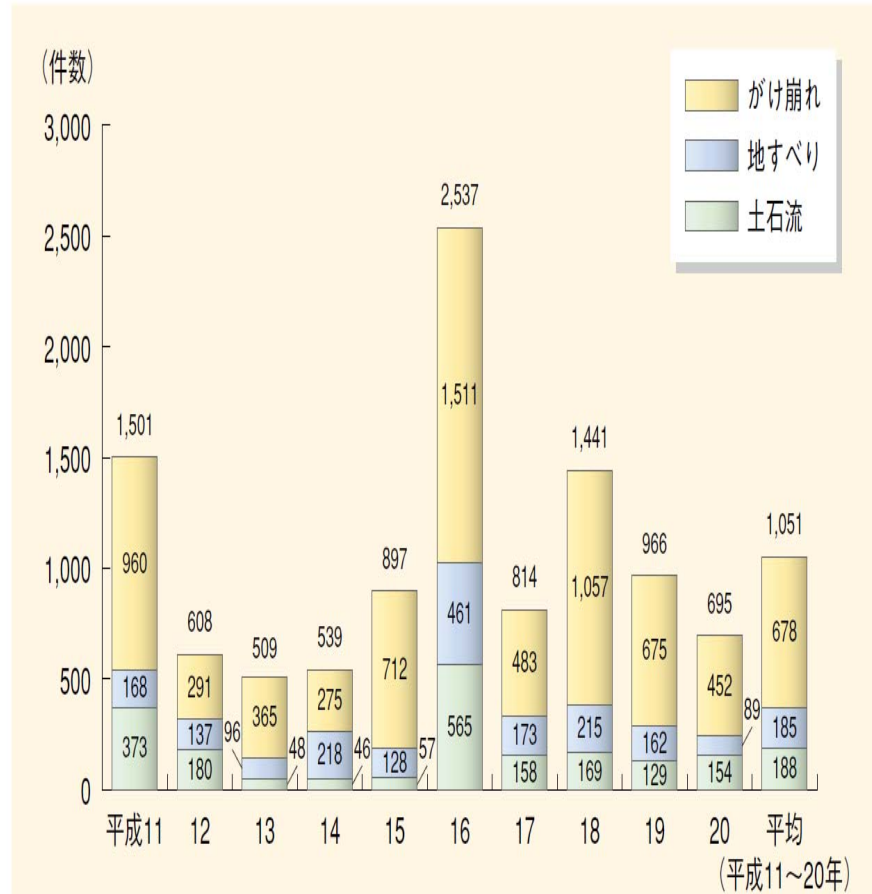
市場環境---(国内)建設市場の見通し

● 近年の災害復旧決定工事費の推移と土砂災害発生件数

災害復旧決定工事費の推移



土砂災害発生件数の推移



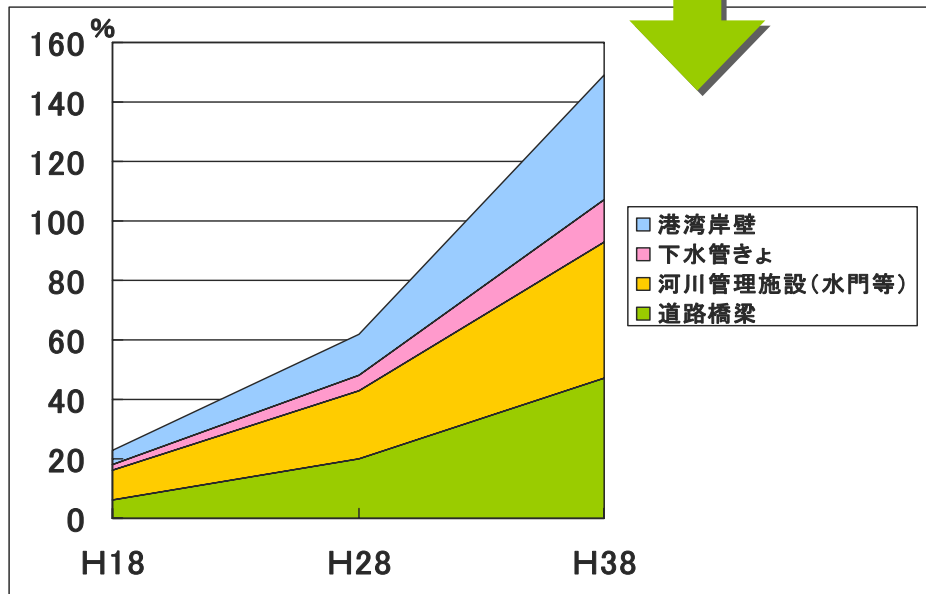
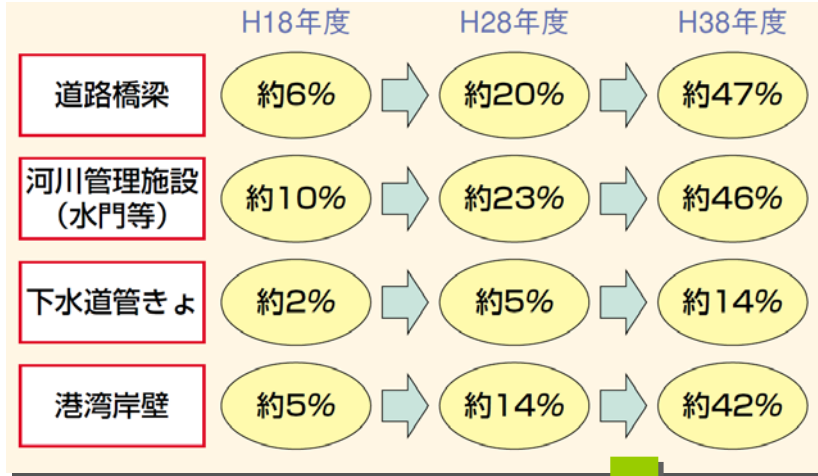
資料) 国土交通省

(国土交通省砂防部資料及び、平成20年度国土交通白書:参考資料編より作成)

※死者行方不明者・土砂災害発生件数に関してはH13~H18年迄の数値のみ発表済み

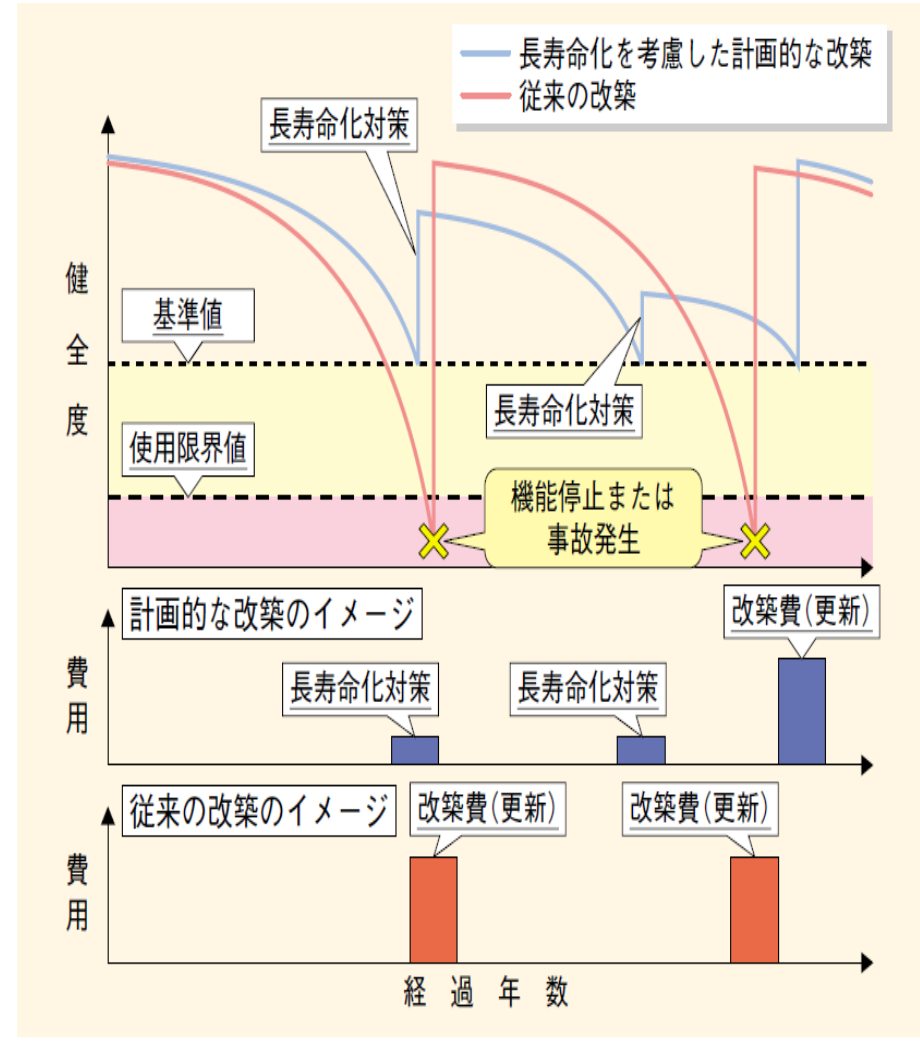
市場環境---(国内)建設市場の見通し

<<建設後50年以上経過する社会資本の割合>>



平成20年度 国土交通白書より

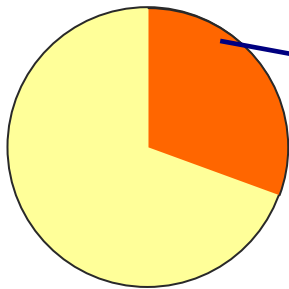
<<予防保全対策を考慮したライフサイクルコストの低減>>



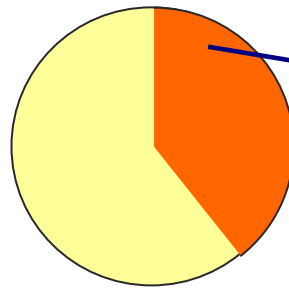
市場環境---(国内)補修・補強

今後は補修・補強の必要性が増大

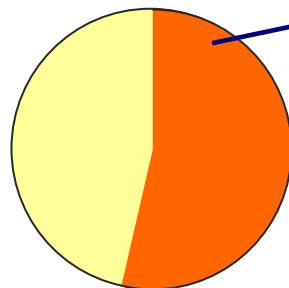
投資総額に対する維持管理・更新投資の比率推計
(国土交通省資料より)



【2010年度】32.6% (5.3兆円)



【2015年度】41.0% (6.1兆円)



【2020年度】53.5% (7.1兆円)

※ 投資総額対前年比△2%で推移した場合の推計

外ケーブルによる橋梁の補強



獅子が鼻大橋(新潟県)



小柳津高架橋(静岡県)

市場環境---(国内)補修・補強

● 砂防えん堤

我国では、その自然特性により、古来から土砂に起因する災害が多発して来ており、古くは、奈良時代から樹木の伐採行為を制限する法律があった。江戸時代には、治山・治水の思想が生まれ、各藩による砂防工事が実施されてきた。

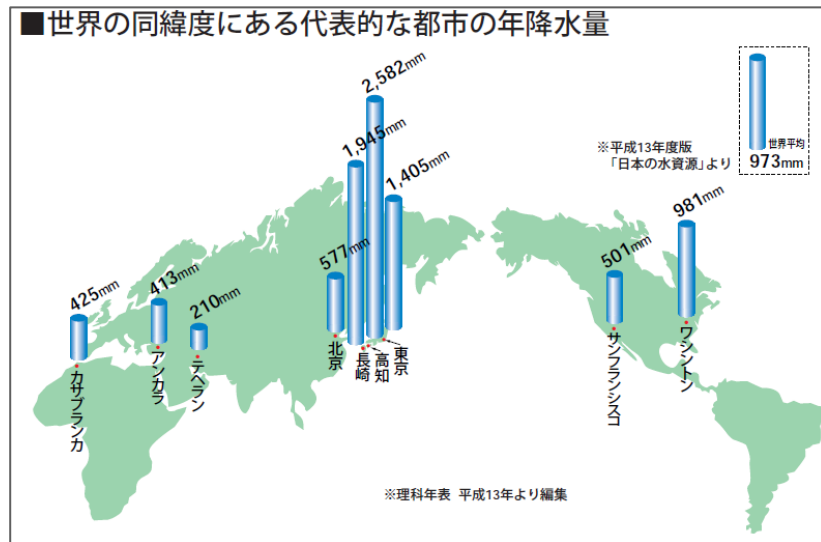
明治以降の砂防えん堤の歴史

明治30年	砂防法の制定	
大正5年	我国初のセメント使用による砂防えん堤施工	山梨県:勅使川
昭和11年	我国発のアーチ砂防えん堤着手	長野県:梓川

かつて作られた砂防えん堤の老朽化



公共事業費縮小の中、新規建設ではなく補強・補修による維持の必要性が高まっている。



日本の降雨量は世界で見ても非常に多い



砂防えん堤が土石及び流木を受止め下流への土砂流出をせき止めている様子

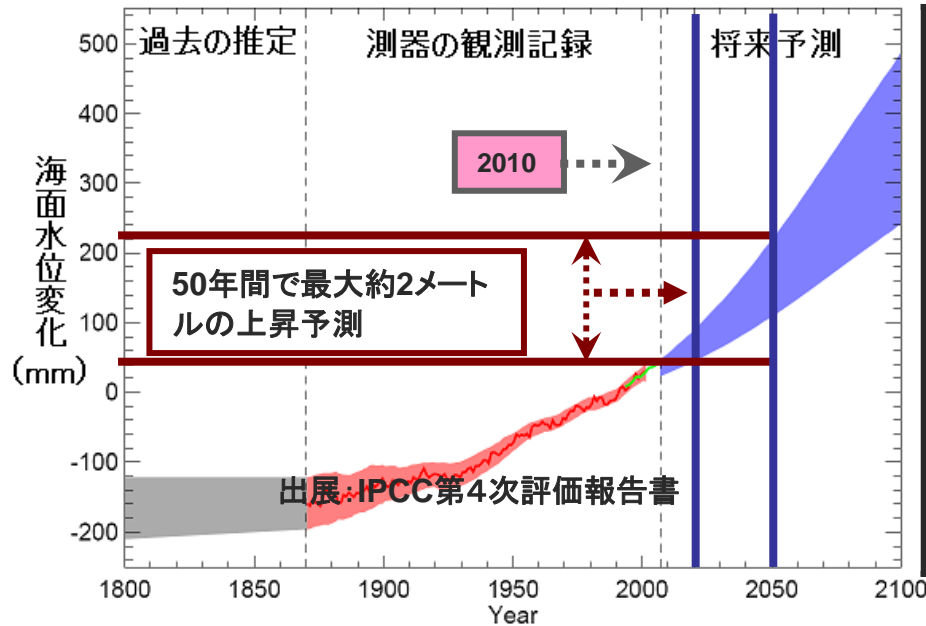
市場環境---(国内) 環境・防災事業

● 護岸工事

『岸壁・護岸補強アンカー工法』が新規評価証を取得

- 海岸事業は伊勢湾台風等の戦後の大災害を契機に拡大⇒整備から40年以上経過した施設が多い。
- 温暖化による海面上昇⇒大規模地震時に津波や液状化等地震被害が拡大。
- 公共事業費削減傾向の中、老朽化した岸壁の耐震強化が必要⇒新しく作る予算不足

護岸補強のニーズの高まり



ターゲット	重点施策	成果
港湾	評価証の実績を元にアンカー工法のPRを実施	①神戸港 ②田子の浦港 ③鍋田埠頭 ④新潟東 ⑤仙台港 他
漁港	水産庁の予定する150施設の耐震化計画を対象に漁港関係者への工法のPRを実施	①小値賀魚港 ②三崎漁港
堰堤	昭和40年以前の古い砂防堰堤の耐震強化検討業務を対象とした、工法のPRを実施	

国連環境計画(UNEP)はこのほど、世界的な気候変動が従来の予測よりも進行し、今世紀末には海面が90年比で2メートル上昇するなど分析した09年版の「気候変動科学大要」を発表。(2009/10/20)

エスイーグループ今後の戦略

- アンカー用途拡大
- 技術支援拡充
- 海外市場開拓
- SECグループ今後の戦略
- SECグループの中期戦略
- 近未来構想---公民連携「PPP」の研究

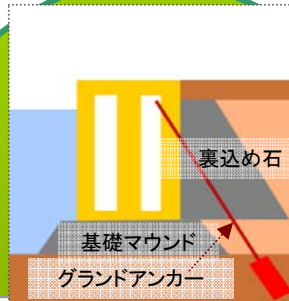
エスイー近未来構想

問 題	状 況	対 策	
公 共 事 業 費 削 減	国内	<p>既存モデル ⇒借金をして新規事業を行う。 ※メンテナンスがおろそかに。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●新規事業よりも維持更新の優先
		<p>公共事業縮小の為、業態転換の実施が不可欠</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●農業、環境、観光、介護福祉への業態変換に関し転業支援を予定(国土交通省) ●経審の仕組みの見直し (業態転換時のリスクの解消)
		<p>既存経審 ⇒ダンピングやペーパーカンパニーが評価される既存の仕組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●努力する所が報われる評価方式に変更検討(国土交通省)
	海外	<p>海外大手ゼネコンは ⇒受注の約6割が他国受注。 日本企業 ⇒海外受注は2割程度。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●海外展開を強化。 ※BRICs:ブラジル・ロシア・インド・中国に於いては成長傾向。インフラ需要も見込める。 国交省政府間交渉等によりこれを支援予定。
		<p>同一国に進出し同じパイを競う状況</p>	<p>世界の様々な国々へも進出 商社等に商習慣等を学び国際社会で伸びる企業化への転換</p>

2009年11月9日:建設工業新聞:前原国土交通省大臣インタビュー記事より作成

今後の戦略---アンカー用途拡大

既存の技術を応用した新たな市場の開拓



港湾・漁港 耐震補強 -護岸工事-

現在の耐震化整備率
(港湾)約55% (漁港)約10%

-2009年5月29日 評価証取得-

沿岸技術研究センターより当社のナット定着アンカーが岸壁・護岸の耐震補強工法として、評価証を取得
(アンカー工法での評価証は現在国内当社のみ)

2009年4月2日新聞記事より

:既存の海岸施設が大規模地震で被災した時に、大型台風が来襲すると、東京湾内で大きな浸水被害。海面上昇よりさらに浸水面積が拡大

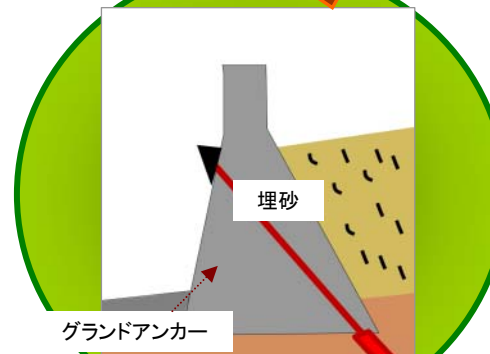
東京湾沿岸堤防等全191キロメートル中震度6以上の地震で86キロが崩壊の恐れ

-東京湾86キロの耐震・かさ上げ-

(2009年4月2日:国土交通省発表)



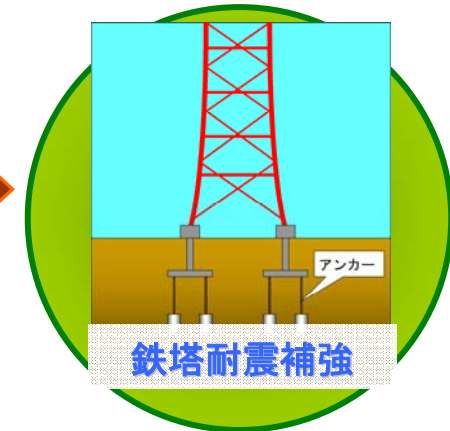
法面



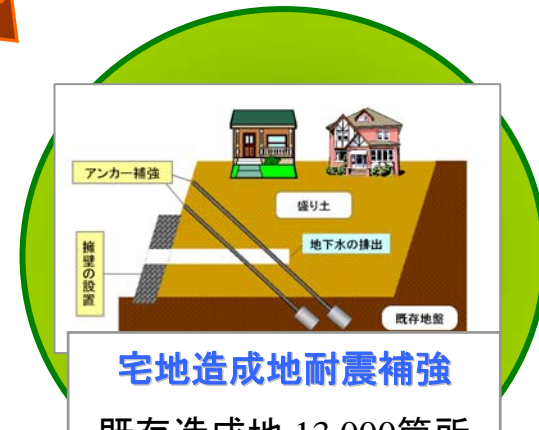
防砂ダム(えん堤)補強

<今後5年間の目標値>

○流木捕捉効果の高いえん堤の割合
:30% → 60%
(平成18年国土交通省目標)



鉄塔耐震補強



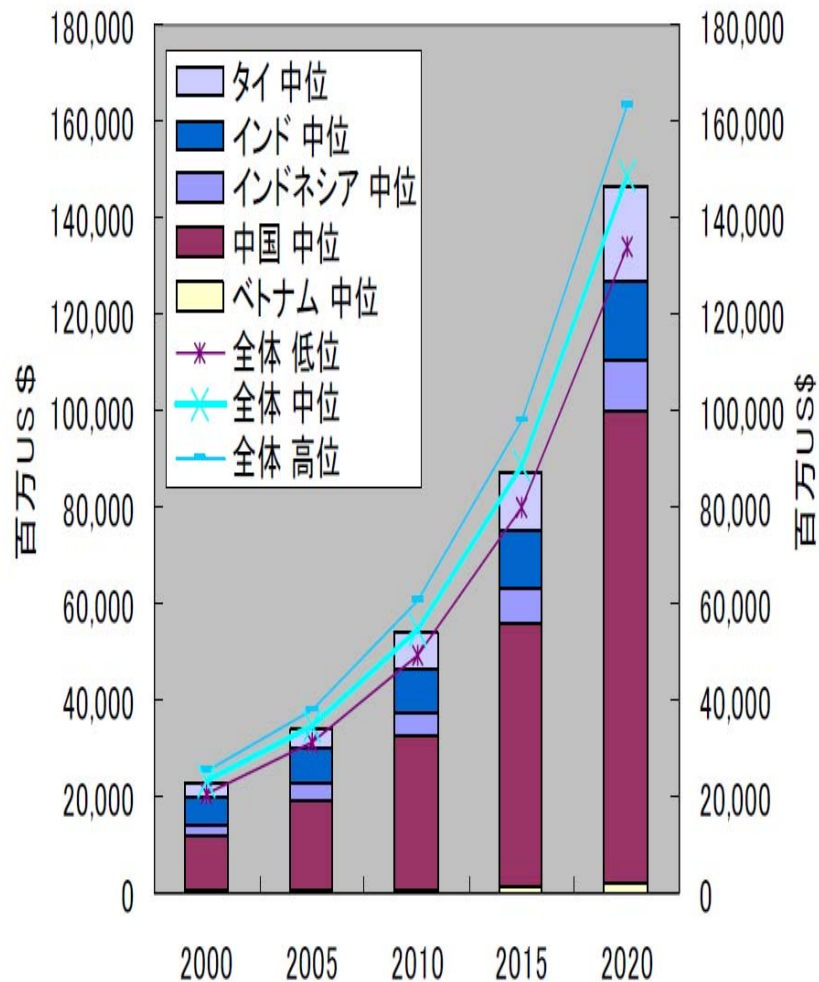
宅地造成地耐震補強

既存造成地 13,000箇所
(優先的実施箇所:1,000箇所)

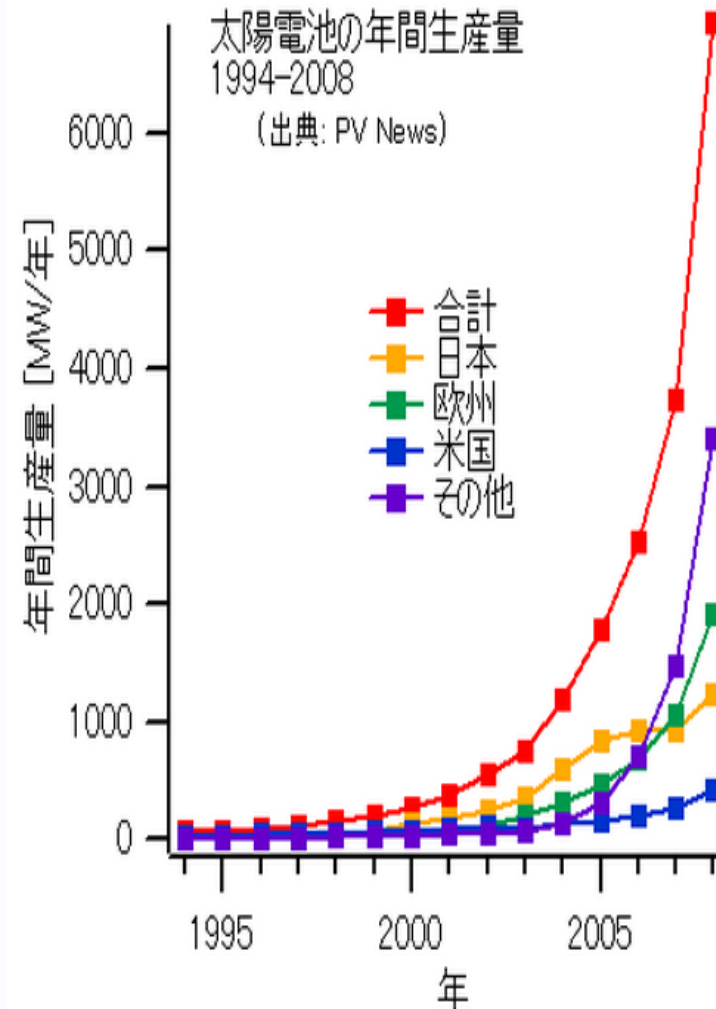
今後の戦略——技術支援拡充：No.1

化石燃料以外によるエネルギーの重要性が高まり。

アジア主要国の環境ビジネス潜在市場規模推計



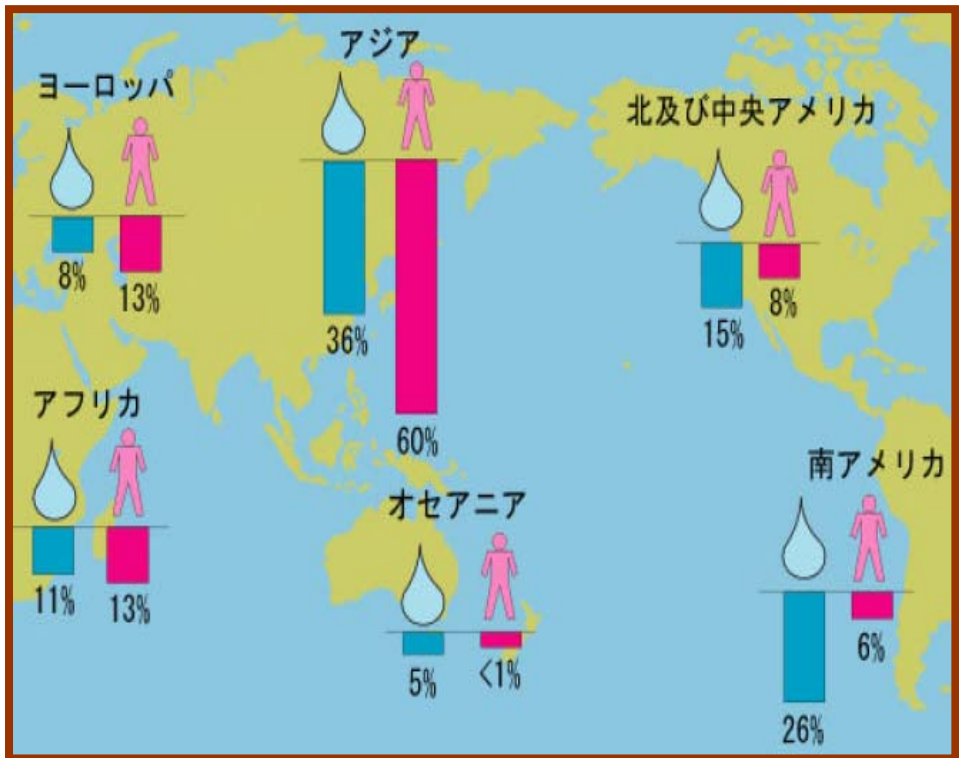
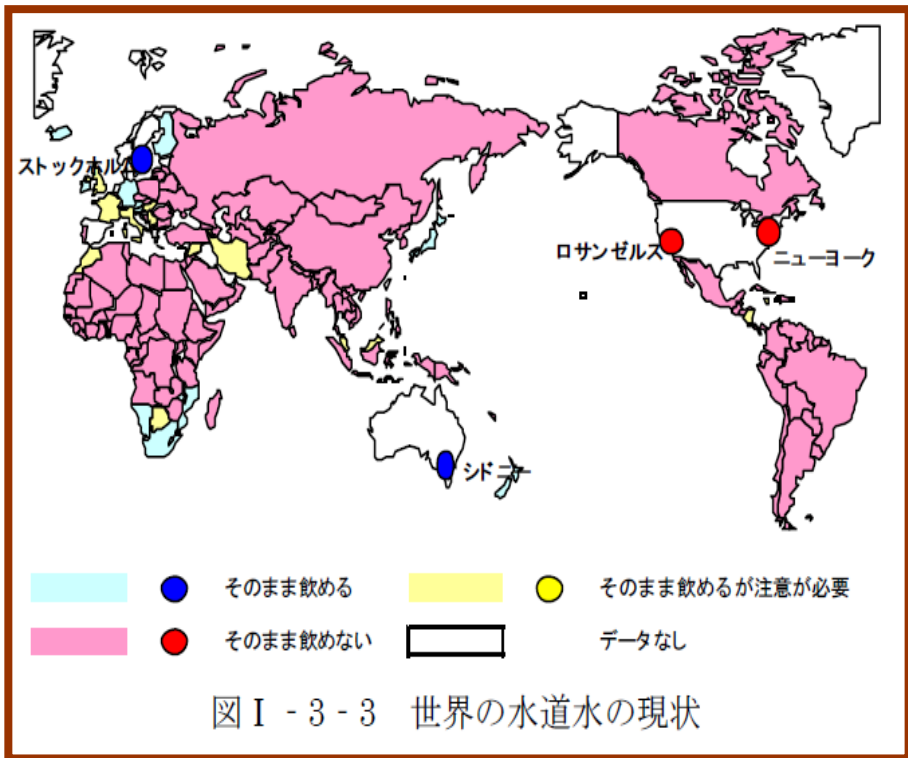
太陽電池の年間生産量



今後の戦略---技術支援拡充:No.2

世界的に安心して飲み水が飲める地域は現時点においてもごく僅か

人口の比率に比べて水資源賦存量の比率が小さいのは、アジア、ヨーロッパ、アフリカの3地域



太陽光発電と水ビジネスのチャンスを探る

出展: 国土交通省水資源部

今後の戦略——海外市場の開拓

ベトナム国内の概要

- GDP規模 …… およそ日本の1/100
(約500億USD)
- GDP成長率 …… 年率約8%
(鉱工業、建設業が高い伸び率)
- ODA 1200億円 日越間調印 (H21年11月10日)
 - 新規 道路・橋梁・鉄道建設/エネルギー開発
 - 既存の鉄道、橋梁も老朽化が著しい(補修補強)



日本の製造業の急速な進出と各国企業の進出



新旧の社会インフラ整備の必要性、
高速道路・高速鉄道の建設が急務

1.ベトナム国高速道路に関する最近の動向

4月	日本ベトナム共同声明(4/20)
	マイン書記長が訪問し、麻生首相と会談。「アジアにおける平和と繁栄のための戦略的パートナーシップに関する日本・ベトナム共同声明」を発表
	経済産業省「アジアPPP政策研究会」報告書発表(4/22)
	2008年12月に設置し、5回の会合を経て議論をとりまとめ。
5月	日ベトナム首脳会談(5/22)
	ズン首相が訪日し、麻生首相と会談。
6月	国土交通省～交通運輸省(MOT)政策対話(6/3)
	高速道路分野における技術協力などについて。
7月	国土交通省～交通運輸省(MOT)政策対話(7/15)
	高速道路分野における技術協力などについて。
8月	日越PPP共同スタディ※ 第1回ワークショップ(8/20)
	パイロットプロジェクト候補の1つとして、高速道路O&M(運営・維持管理)プロジェクトを紹介

今後の戦略——海外市場の開拓

ベトナムでの活動状況

現在、アンジェロセック / VJECが入札参加もしくはプロポーザルを目論むプロジェクト

★ 道路関連

道路管理教育
 ベンルック～ロン タイン高速道路
 ハロン～モンカイ高速道路
 国道51号線改良

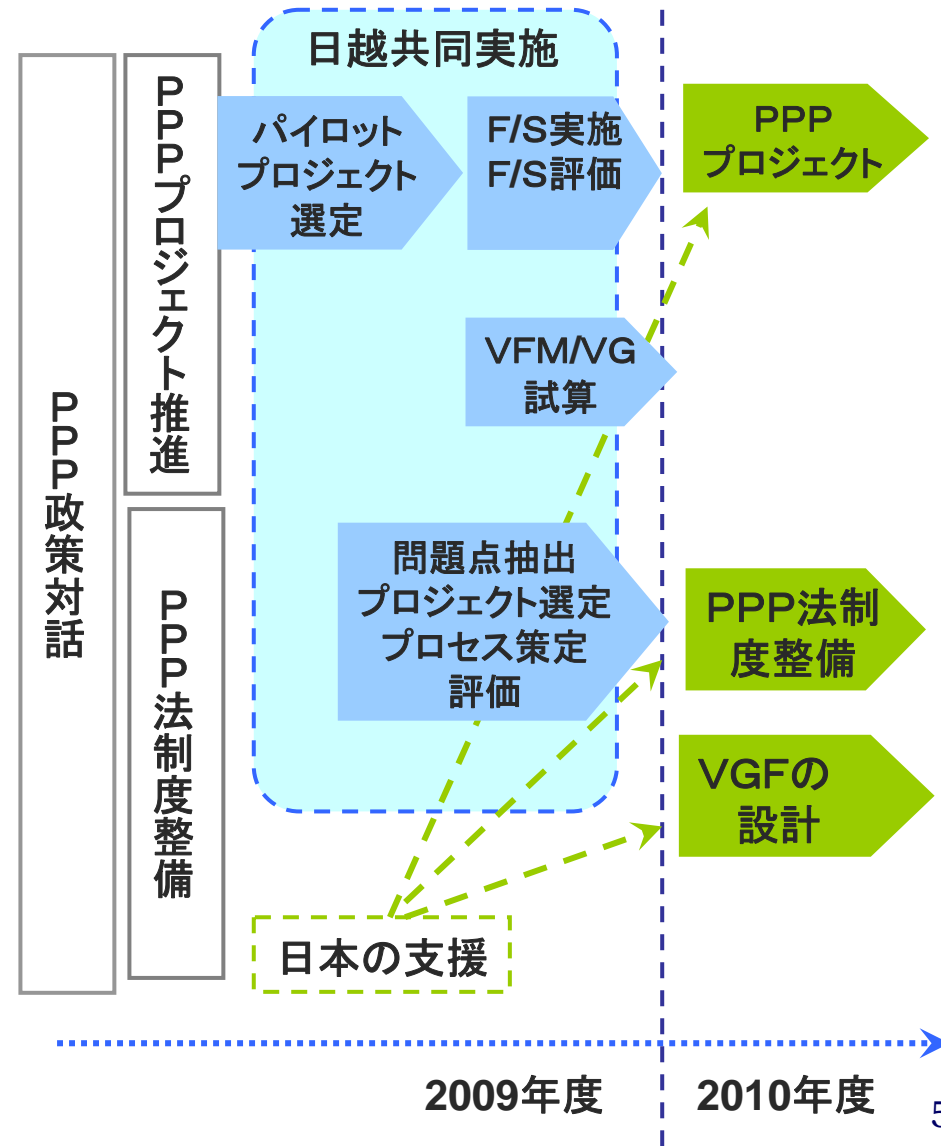
★ 橋梁関連

ゲアン省 吊橋
 ディンブー～ラックフエン架橋
 コチエン橋
 ビンティン橋

★ 省開発のマスタープラン、都市開発、工業団地、大学建設関連

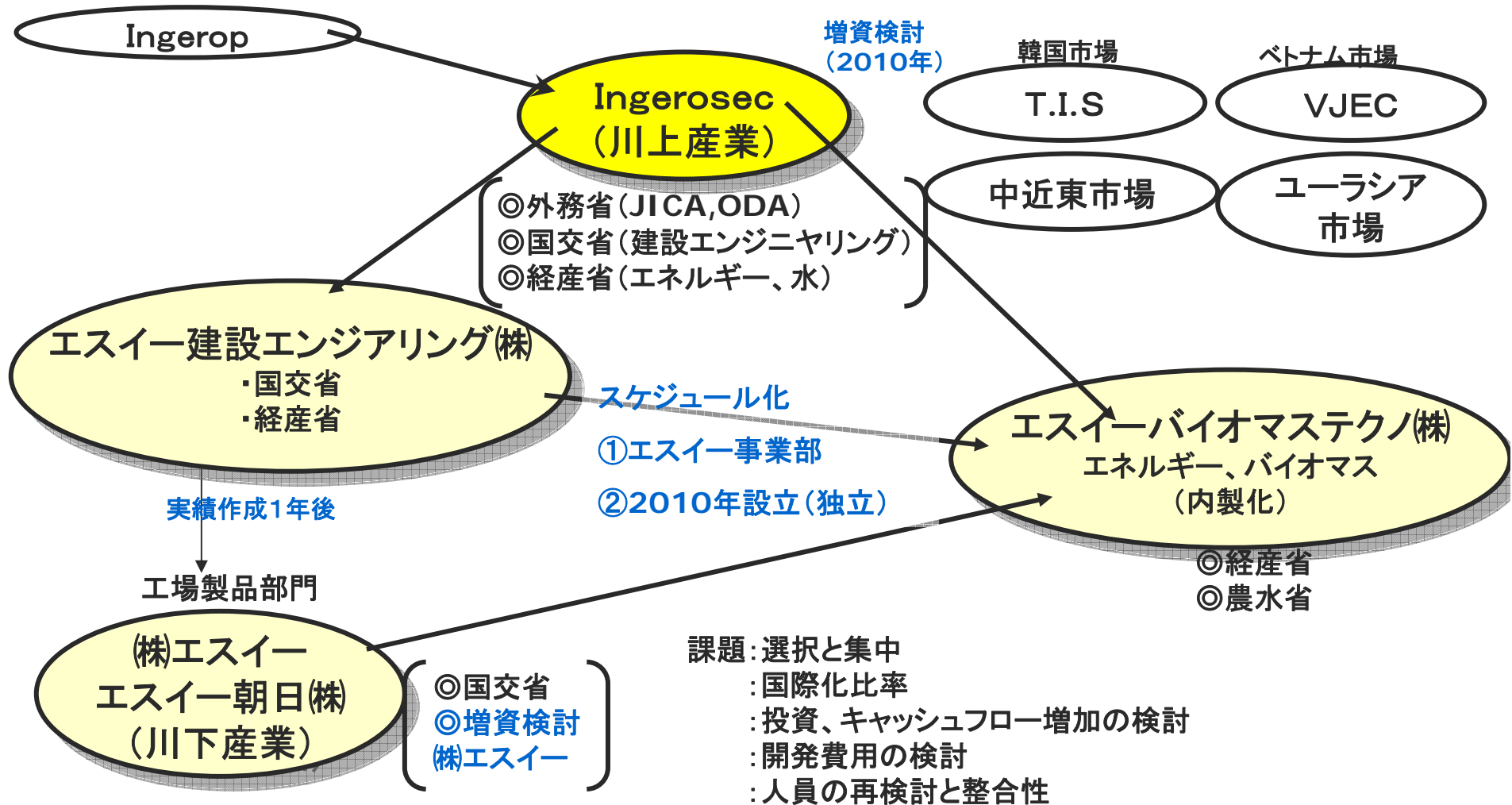
ベトナム北部を中心に、フランス Ingerop社と共に各プロジェクトのプロポーザルを作成中。

(参考)パイロットプロジェクトによる日越共同スタディロードマップ



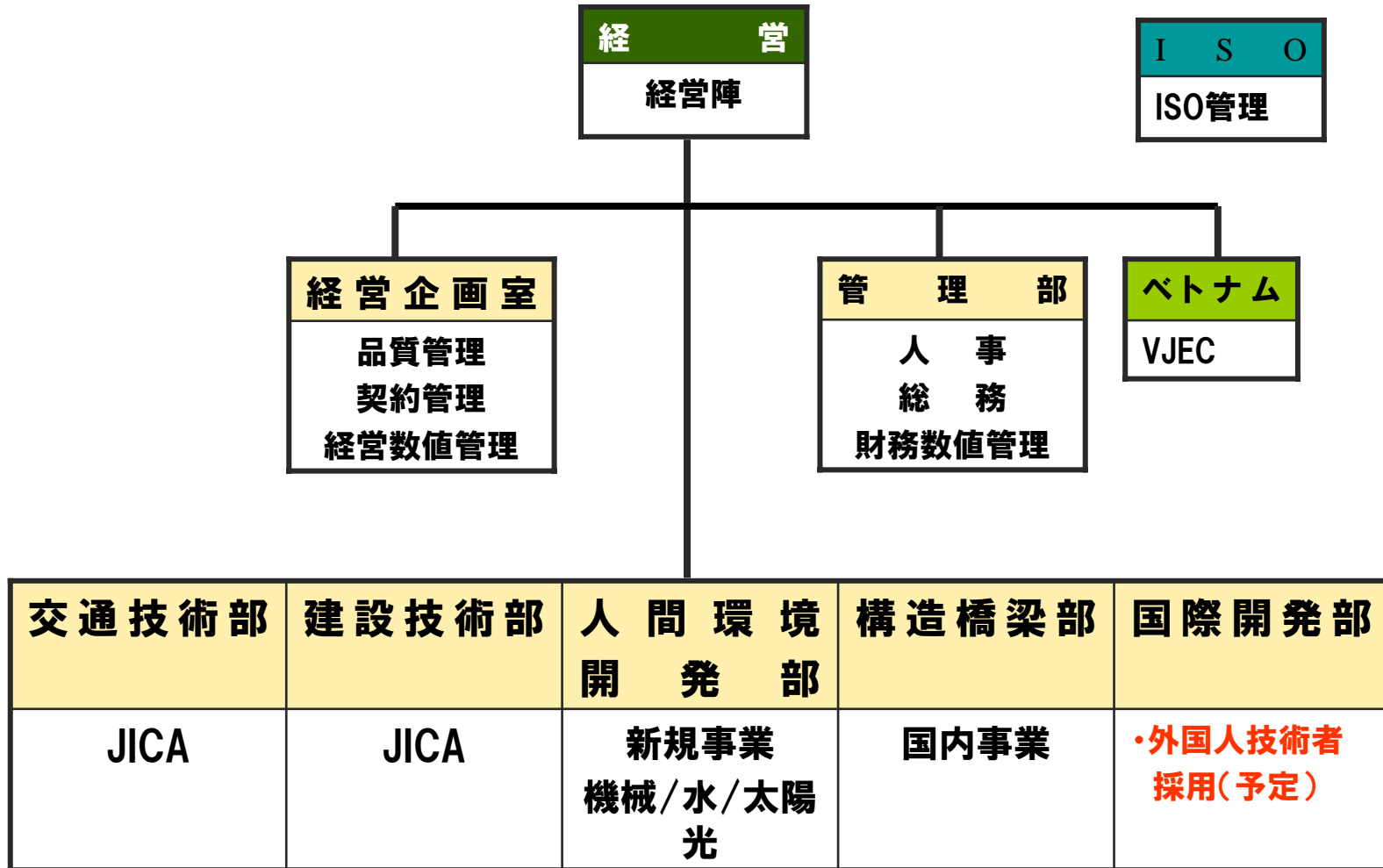
SECグループのビジネスフロー構想

(エンジニアリング建設メーカーへ)

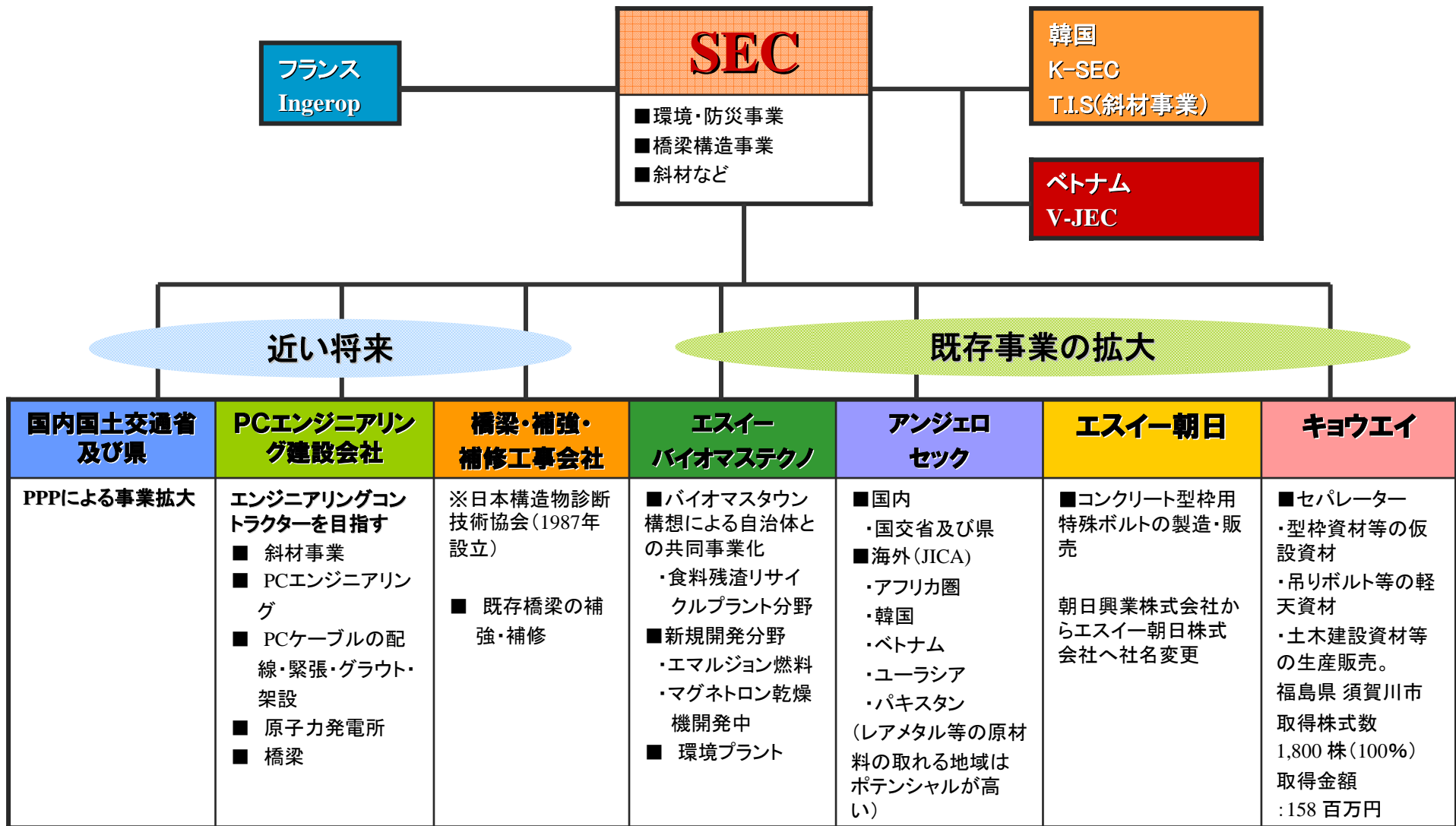


SECグループの中期戦略

アンジェロセックの人材戦略



SECグループの中期戦略



SECグループの中期戦略(人材)

● 人材戦略

- 競争に打ち勝つ為
- 新製品・新技術の開発の為
- 海外市場での積極的な活動の為
- M&Aの積極的な活用の為

人材の充実は不可欠

国内外の卓越した人材の採用により、
海外大型プロジェクトへの取組みを強化

✦ 海外人材の登用

- ✦ フランス、韓国、ベトナム等から幅広く受入
- ✦ 海外の知識を技術開発に応用
- ✦ 海外事業の積極展開のため、国際市場からの人材の採用

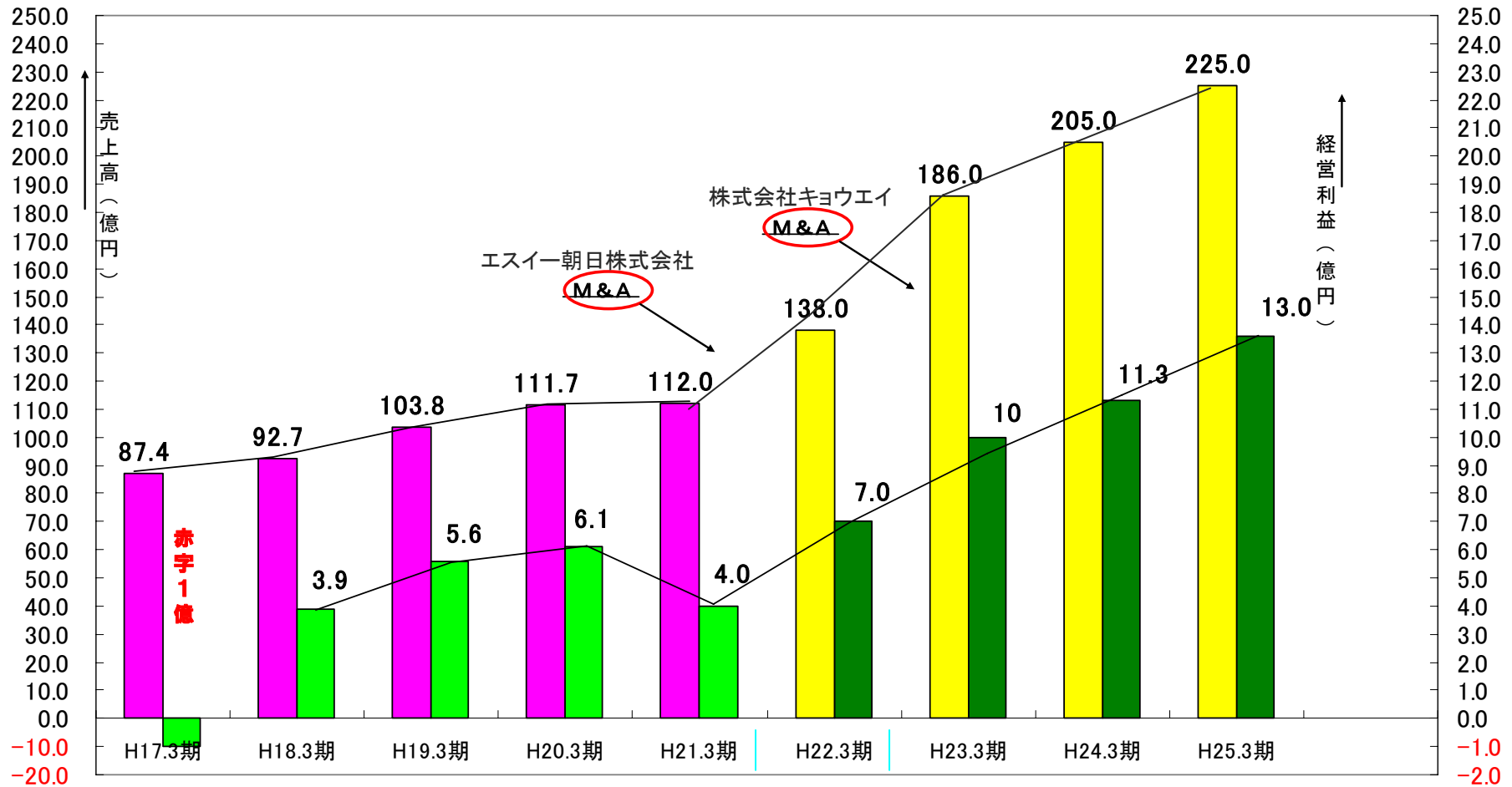
✦ 社外からの人材スカウト

- ✦ 社内で蓄積された技術と社外で積み上げられた経験と知識の融合により、新しい技術を開発

SECグループ売上高・経常利益 実績と計画

億円

億円



8月31日
 民主党政権発足
 ・太陽光発電
 ・浄水プラント、淡水化

近未来構想——公民連携PPPの研究

フジ・サンケイビジネスアイ、PPPに関する紙上対談の実施

アンジェロセックが東洋大学の公民連携研究科と共同研究



2009年6月17日(水)	
フジ・サンケイビジネスアイ	
PPPに関する紙上対談の実施	
塩川 正十郎氏	東洋大学総長 (元財務大臣)
根本 祐二氏	東洋大学大学院経済学部 研究科公民連携専攻主任
森元 峯夫	株式会社エスイー会社 株式会社 アンジェロセック会長

エスイーとフジ・サンケイ・ビジネスアイによる PPPシンポジウム開催



2009年9月28日(月)
PPPシンポジウム開催

服部 信明氏 神奈川県茅ヶ崎市市長

中川 暢三氏 兵庫県加古川市市長

根本 祐二氏 東洋大学経済学部教授
同学院経済学研究科
公民連携専攻主任

森元 峯夫 (株)エスイー社長
(株)アンジェロセック会長

近未来構想——今後のテーマ

1	建設産業の輸出産業化
2	PPPによる社会インフラ整備の促進
3	PPPによる老朽化した既存橋の補強・補修

将来見通しに関する記述についての詳細〔ご参考〕

当資料は、あくまで株式会社エスイーをより深く理解していただくためのものであり、当資料に記載されたいかなる情報も、当社株式の購入や売却を勧誘するものではなく、またこれらに関する投資アドバイス目的で作成されたものでもありません。

本資料に記載されている当社の業績見通し、計画、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に係る見通しであります。これらは現時点で入手可能な情報に基づき株式会社エスイーの経営者が判断したものであり、リスクや不確実性を含んでいます。したがって、これらの業績見通しのみを依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。